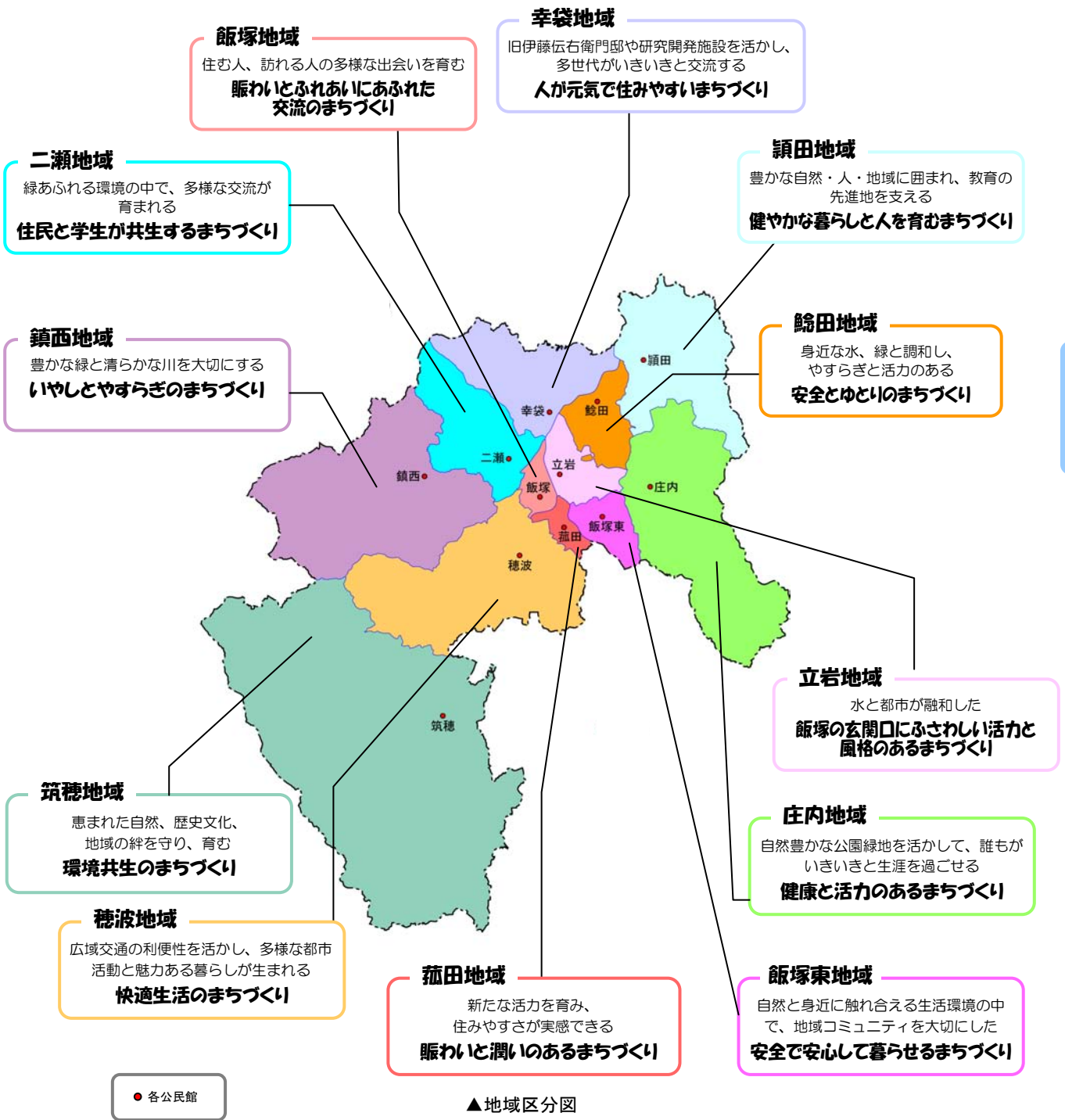


第4章 地域別構想

1. 地域区分

◎都市計画運用指針では、地域の設定について「各地域像を描き施策を位置づける上で適切なまとまりのある空間の範囲とすることが望ましい」とされています。

◎本マスタープランでは「適切なまとまりある空間」として、地域の身近なまちづくり活動が公民館単位で積極的に行われていることから、公民館区分を基本とした地域区分を設定します。



第4章

2. 菰田地域のまちづくり方針

2-1 地域の現況と主要課題

(1) 中心拠点の一翼を担う活力ある地区の形成

- 飯塚駅周辺では、商業・業務機能の集積が弱くなっており、空き地・空き店舗の増加などによって、地域の活力が低下していることから、駅東西市街地の一体性の強化や、中心拠点にふさわしい都市機能の集積を進めることが課題となっています。
- 地域の活力向上を図るため、嘉穂中央高校跡地などの低未利用地の有効利用方策を検討する必要があります。



嘉穂中央高校跡地

＜課題＞

- 中心拠点にふさわしい賑わいの創出
- 駅西側への商業・業務機能の集積強化
- 低未利用地の有効利用

(2) 生活の利便性、防災性を高める交通環境の形成

- 市街地の骨格となっている都市計画道路菰田鶴三緒線、柏ノ森忠隈線、目尾忠隈線が長期未着手となっており、必要性を再検討する必要があります。生活道路についても駅東側で整備が遅れており、生活の利便性や防災性を高めるため、国道201号飯塚庄内田川バイパスへの交通アクセスの改善を図ることが課題です。
- 交通拠点である飯塚駅周辺では、バイパス整備を活かし、広域的な公共交通のネットワーク性を高め、乗り継ぎ環境の強化を図ることが求められています。

＜課題＞

- 都市計画道路の必要性の再検討
- 生活道路の整備・改善
- 交通結節機能の強化
- 広域公共交通ネットワークの充実

（3）親しみやすい水辺や緑の創出

- 遠賀川、穂波川、熊添川、碓川の水辺環境を活かし、親水性を高めていくことが求められています。
- 本地域における公園の人口1人あたりの面積は、他地域と比べ高くなっていますが、未開設の公園も残っており、計画的な公園整備を進めることが課題です。また、開設している公園についても、より利用しやすい施設改善や適切な維持管理が望まれます。
- 一部に公共下水道の未整備区域が残っており、計画的な整備が課題となっています。



五穀神公園

《課題》

- 親水性の高い河川環境の整備
- 身近な公園の整備・改善と適切な維持管理
- 公共下水道の計画的な推進

（4）安全・安心して住み続けられる居住環境の形成

- 本地域では人口減少が著しく、高齢化も進行しており、若者から高齢者まで多世代が住み続けることのできる居住環境の創出が課題となっています。
- 中心拠点の一角を構成する市街地ではありますが、老朽化した木造建築物が密集している地区もあることから、火災や浸水被害といった都市災害に強いまちづくりを進める必要があります。

《課題》

- 街なか居住の促進
- 市街地の耐火性・耐震性の強化
- 避難誘導の強化

2-2 地域の将来像と基本目標

（1）将来像

新たな活力を育み、住みやすさが実感できる
賑わいと潤いのあるまちづくり

（2）地域づくりの基本目標

①多くの人が集う、活気あるまちづくり

- 本地域は、近畿大学九州短期大学、地方卸売市場などの地域資源を有し、古くから街なかの一角を担ってきた地域です。これらの地域資源を活用して、多くの人が集い、商業・業務、流通、学術などの様々な活動が活発に行われるまちを目指します。

②広域交通の利便性を活かした住み続けられるまちづくり

- 飯塚駅を有し、国道 201 号飯塚庄内田川バイパスが東西に通過している広域交通の利便性を活かして、安全・安心で便利な居住環境のあるまちを目指します。

③水辺空間や緑を活かした潤いのあるまちづくり

- 日々の暮らしの中で、遠賀川や穂波川、熊添川、碓川などの水辺空間や五穀神公園など、自然の恵みや楽しさを実感でき、自然と生活が調和した潤いのあるまちを目指します。

2-3 地域のまちづくり方針

(1) 土地利用

- 教育施設が集積する飯塚駅東側の市街地は、低層のゆとりある住宅や中高層住宅を中心とした住宅地として、調和の取れた土地利用を推進します。
- 嘉穂中央高校跡地や実習田などの低未利用地における公共公益施設の設置など、有効利用方策の検討を進めます。
- 飯塚駅西側から地方卸売市場周辺は、中心市街地の一角を担う、賑わいのある商業・業務地として、土地の高度利用、低未利用地の有効利用を促進します。また、店舗、事務所、流通業務施設の重点的誘導を進め、中心拠点の南の玄関口にふさわしい市街地の整備を進めます。
- 北部の複合住宅地では、大規模集客施設の立地を抑制し、周辺の居住環境と調和した生活利便施設、低中層住宅の適切な誘導を進めます。



近畿大学九州短期大学



飯塚駅

(2) 交通ネットワーク

- 都市計画道路のうち、現道のある路線区間については現行の機能を分析するとともに将来需要を把握し、現道のない路線区間については代替となる周辺道路や周辺市街地の状況などを踏まえることにより、必要性の再検討を行います。
- 飯塚駅東側の市街地では、建物の更新と一体的に狭あいな生活道路の改善を進めるとともに、国道211号や小中学校周辺など歩行者交通の多い区間では歩車分離などの改善を進めます。
- 飯塚駅周辺では、事業者との協働により、交通結節機能を高めるためのパークアンドライド、キスアンドライドなど、利用目的に応じた駐車場や乗降場の設置を検討します。



都市計画道路目尾忠隈線



飯塚駅に隣接して整備された駐車場

（3）水・緑・歴史のまちづくり

- 国道 201 号飯塚庄内田川バイパス南側の住宅地では、公共下水道を計画的に整備していきます。
- 身近で利用しやすい公園の計画的整備や、地域住民との協働による維持管理を進めます。五穀神公園では遊具、休憩施設などの施設改善を進めます。
- 遠賀川、穂波川の生物生息環境の維持を図るとともに、熊添川、碓川では市街地内の身近な河川として親水性の向上を図ります。
- 飯塚駅西側の商業・業務地では、賑わいや拠点性を感じることのできる景観形成を図ります。



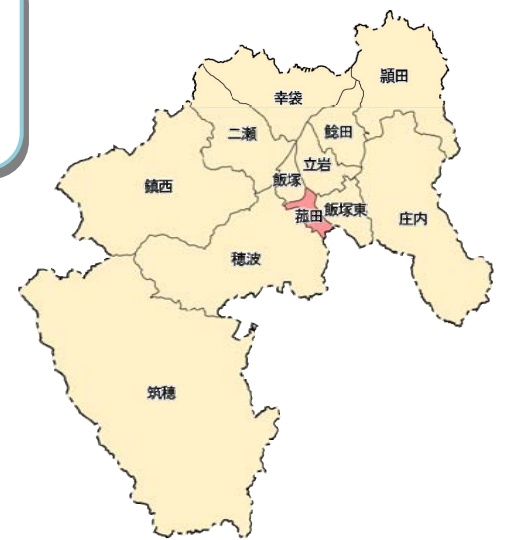
熊添川

（4）安全・安心して暮らせるまちづくり

- 駅周辺や小中学校周辺など多くの人々が利用する道路でのバリアフリー化や、ガードレール・横断防止柵、道路照明灯などの交通安全施設の整備を進めます。
- 商業・業務地では、耐火性、耐震性の高い建物の誘導を進めます。
- 避難地の防災機能を強化するとともに、避難地までの誘導案内の強化に取り組みます。

地域別まちづくり方針図

菰田地域



【全体】

- 東菰田公園、西菰田公園の計画的な整備推進、地域住民との協働による公園の維持管理
- 避難地までの誘導案内の強化
- 長期未着手となっている都市計画道路の必要性の再検討
- 駅周辺や小中学校周辺など多くの人々が利用する道路でのバリアフリー化、ガードレール・横断防止柵、道路照明灯など交通安全施設の整備

【穂波川】

- 良好な生物生息環境の維持

【複合住宅地】

- 大規模集客施設の立地抑制
- 周辺の居住環境と調和した生活利便施設、低中層住宅の適切な誘導

【熊添川・碓川】

- 市街地内の身近な河川としての親水性向上

【商業・業務地】

- 土地の高度利用や低未利用地の有効利用の促進
- 店舗、事務所、流通業務施設の重点的誘導
- 賑わいや拠点性を感じることのできる景観形成
- 耐火性、耐震性の高い建物の誘導
- 事業者との協働による、利用目的に応じた駐車場、乗降場設置（パークアンドライド、キスアンドライドなど）

【住宅地】

- 低層のゆとりある住宅地や中高層住宅を中心とした住宅地として、調和の取れた土地利用の推進
- 建物の更新と一体となった狭い生活道路の改善
- 避難地の防災機能の強化

【五穀神公園】

- 遊具、休憩施設などの施設改善

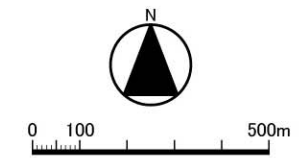
【高校跡地】

- 公共公益施設の設置など有効利用の方策の検討

【国道201号飯塚庄内田川バイパス南側の住宅地】

- 公共下水道の計画的整備

住宅地	学術・研究開発拠点	広域都市間幹線道路
複合住宅地	工業拠点	都市間幹線道路
商業・業務地	レクリエーション拠点	都市内幹線道路
沿道商業地	歴史観光拠点	補助幹線道路
工業地	都市計画公園(開設)	都市計画道路(改良済)
集落地	都市計画公園(未開設)	都市計画道路(未改良)
農地	都市公園(開設)	(都) 都市計画道路(名称)
森林・樹林地	※都市公園(未開設)はなし	(一) 一般県道(名称)
市役所・支所	その他の都市施設	(主) 主要地方道(名称)
公民館	用途地域	水の軸
		歴史をつなぐ軸(長崎街道)



3. 飯塚東地域のまちづくり方針

3-1 地域の現況と主要課題

(1) 定住魅力の高い住宅地の形成

- 丘陵部の住宅地では生活利便施設の集積が弱く、生活利便性が低い状況です。また、大規模な市営住宅があり、老朽化した狭小な住宅が多いことから、適切な改善を図ることが課題です。
- 地区計画が定められた上三緒地区では、良好な居住環境を有する住宅地の維持・保全を図ることが重要です。
- 用途地域に隣接する学頭ポンプ場東側、上三緒工業団地周辺では、宅地化が進行しており、土地利用の適正な規制・誘導が望まれます。



地区計画が定められた住宅地



宅地化の進行する地区

《課題》

- 生活利便施設の適切な誘導
- 市営住宅団地の適切な改善
- 良好な居住環境の保全
- 宅地化が進展している地区への適正な土地利用の規制・誘導

(2) 安全かつ快適な交通環境の形成

- 本地域では、市街地の骨格を形成する都市計画道路鯉田上三緒線、上三緒安丸線、柏ノ森忠隈線が長期未着手となっており、必要性を再検討する必要があります。
- 一般県道飯塚山田線では狭い歩道が多く、歩行者の安全性を高めることも望まれています。
- 斜面地の住宅地では、スロープや階段が多く、身近な避難地も限られているため、休憩場所や避難路の確保も必要です。



一般県道飯塚山田線

《課題》

- 都市計画道路の必要性の再検討
- 緩斜面に広がる住宅市街地にふさわしい歩行環境の形成
- 身近な休憩場所や避難路の確保

(3) 良好な水辺や緑の保全と創出

- 遠賀川沿いの平坦部には、まとまりある農地が広がっており、農業生産環境の維持を図るため、保全する必要があります。
- 優良農地の北側や南部における開発などによる宅地化の進展に対し、適切な抑制が課題です。
- 遠賀川では、自然とのふれあいや散策ができるような河川環境を創出することが求められています。
- 新川では、ごみの投棄や悪臭などの問題があり、排水処理施設の整備にあわせ、市街地に身近な河川として改善することも重要となります。



まとまりある農地

《課題》

- 優良農地の保全
- 遠賀川、新川の環境改善
- 公共下水道の計画的な推進

(4) 災害に強いまちづくりの推進

- 幅員が狭く、救急車両の進入が困難な生活道路があるため、改善が必要です。
- 平成15年の集中豪雨では、低平地で浸水被害に見舞われた経緯があり、浸水対策を強化する必要があります。

《課題》

- 救急車両が通行可能な道路の確保
- 低平地にある住宅地の浸水対策の強化

3-2 地域の将来像と基本目標

(1) 将来像

自然と身近に触れ合える生活環境の中で、地域コミュニティを大切にした
安全で安心して暮らせるまちづくり

(2) 地域づくりの基本目標

①魅力的な居住環境のあるまちづくり

- 地域の絆や支えあいを大切にし、斜面地に広がる戸建て住宅、市営住宅、優良農地に隣接する落ち着いた住宅地など、様々な居住ニーズに対応した魅力的な居住環境のあるまちを目指します。

②バイパス開通を活かした生活利便性の高いまちづくり

- 国道 201 号飯塚庄内田川バイパスの開通を活かし、交通利便性が高く、生活に身近なサービスを受けることのできる生活利便性の高いまちを目指します。

③自然と共生する安全安心なまちづくり

- 遠賀川の自然環境、優良農地、斜面緑地を守り、自然の恵みや楽しさを実感でき、自然と生活との調和を保ちながら、防災性の高いまちを目指します。

3-3 地域のまちづくり方針

(1) 土地利用

- 用途地域の西部、南部における宅地化の進展に対して、適切な用途地域の指定を検討します。
- 丘陵部に広がる低層のゆとりある住宅地や中高層住宅などで構成される住宅地は、良好な眺望を活かした住宅地の形成を促進します。
- 地区計画が定められた上三緒地区では、地区計画に応じた良好な居住環境を維持していきます
- 飯塚市市営住宅ストック総合活用計画に基づき、市営住宅の適切な改善を進めます。
- 国道 201 号飯塚庄内田川バイパス沿いの沿道商業地は、周辺の自然環境や景観に十分配慮し、商業・業務施設、都市型住宅を中心とした土地利用の誘導を進めます。
- 上三緒南部の複合住宅地では、大規模集客施設の立地を抑制し、周辺の居住環境と調和した生活利便施設や低中層住宅の誘導を進めます。
- 上三緒工業団地では、周辺の居住環境に配慮した操業環境を維持していきます。
- 市土保全、水源かん養、郷土景観、土砂災害防止など公益的な機能が発揮されるよう、優良農地、森林、ため池を保全するとともに、宅地化の進行を抑制していきます。



丘陵部の住宅地



上三緒工業団地

(2) 交通ネットワーク

- 都市計画道路のうち、現道のある路線区間については現行の機能を分析するとともに将来需要を把握し、現道のない路線区間については代替となる周辺道路や周辺市街地の状況などを踏まえることにより、必要性の再検討を行います。
- 市街地では、建物の更新と一体的に狭あいな生活道路の改善、車両が離合できる空間の確保を進めます。



国道 201 号飯塚庄内田川バイパス

(3) 水・緑・歴史のまちづくり

- 身近で利用しやすい公園づくりを進めるため、街区公園や広場における地域住民との協働による維持管理を進めます。
- 遠賀川の良好な自然環境の維持やため池の水質改善を図るとともに、新川では市街地内の身近な河川として親水性の向上を図ります。
- 河川の水質改善や居住環境の向上を図るため、上三緒地区での公共下水道未整備区域の計画的整備を進めます。



遠賀川（一本木井堰付近）

(4) 安全・安心して暮らせるまちづくり

- 駅周辺や小中学校周辺など多くの人々が利用する道路でのバリアフリー化や、ガードレール・横断防止柵、道路照明灯などの交通安全施設の整備を進めます。
- 避難地の防災機能を強化するとともに、避難地までの誘導案内の強化に取り組みます。
- 土砂災害や水害危険性の高い地域での危険性周知や宅地化の抑制を図ります。

地域別まちづくり方針図

飯塚東地域



- 【全体】**
- 宅地化の進展に対応した用途地域指定の検討
 - 上三緒、下三緒の市営住宅の計画的な改善
 - 駅周辺や小中学校周辺など多くの人々が利用する道路でのバリアフリー化、ガードレール・横断防止柵、道路照明灯など交通安全施設の整備
 - 公共下水道未整備区域の計画的整備
 - ため池の水質改善
 - 長期未着手となっている都市計画道路の必要性の再検討
 - 水害危険性の高い地域での危険性周知や宅地化の抑制
 - 避難地の防災機能や誘導案内の強化

- 【新川】**
- 市街地内の身近な河川としての親水性の向上

- 用途地域指定の検討

- 【遠賀川】**
- 良好な自然環境の維持

- 【国道201号飯塚庄内田川バイパス北側の住宅地】**
- 低層住宅地や中層住宅地の形成
 - 狭い生活道路の改善、車両が離合できる空間の確保
 - 小学校周辺など歩行者交通量の多い区間での歩道整備など歩行者空間の改善
 - 地域住民との協働による公園の維持管理

- 【国道201号飯塚庄内田川バイパス南側の住宅地】**
- 眺望を活かした低層住宅を基本とした緑豊かな住宅地の形成
 - 狭い生活道路の改善、車両が離合できる空間の確保
 - 歩行者交通量の多い区間での歩道整備など歩行者空間の改善
 - 地域住民との協働による公園の維持管理

- 【沿道商業地】**
- 周辺の環境や景観に配慮した、商業・業務施設、都市型住宅を中心とした土地利用の誘導

- 【森林】**
- 地域の活性化や潤いある居住環境に資するよう有効利用の促進

- 【農地】**
- 優良農地の保全
 - 農地利用集積など耕作放棄地の解消策の推進による優良農地の保全

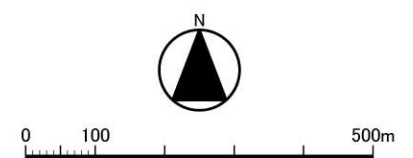
- 【複合住宅地】**
- 大規模集客施設の立地抑制
 - 周辺の居住環境と調和した生活利便施設、低中層住宅の適切な誘導

- 【工業地】**
- 周辺の環境に配慮した操業環境の維持

- 地区計画が定められた上三緒地区の良好な居住環境の維持

- 用途地域指定の検討

住宅地	学術・研究開発拠点	広域都市間幹線道路
複合住宅地	工業拠点	都市間幹線道路
商業・業務地	レクリエーション拠点	都市内幹線道路
沿道商業地	歴史観光拠点	補助幹線道路
工業地	都市計画公園(開設)	都市計画道路(改良済)
集落地	都市計画公園(未開設)	都市計画道路(未改良)
農地	都市公園(開設)	(都) 都市計画道路(名称)
森林・樹林地	都市公園(未開設)	(一) 一般県道(名称)
市役所・支所	※都市公園(未開設)はなし	(主) 主要地方道(名称)
公民館	その他の都市施設	水の軸
	用途地域	歴史をつなぐ軸(長崎街道)



4. 鯉田地域のまちづくり方針

4-1 地域の現況と主要課題

(1) 暮らしやすく活力ある地域の形成

- 鯉田駅周辺や鯉田公民館周辺では生活利便施設の集積が弱く、生活利便性が低い状況です。
- 産業の活性化に向け、鯉田工業団地では、今後、積極的な企業誘致や周辺環境に調和した操業環境を形成する必要があります。
- 北部の鉄道沿線や東部には炭鉱跡地などの低未利用地が広がっており、地域の活性化に資する有効利用を図ることが望まれます。



低未利用地（炭鉱跡地）

《課題》

- 生活利便施設の適切な誘導
- 鯉田工業団地への企業誘致、良好な操業環境の形成
- 炭鉱跡地などの低未利用地の有効利用

(2) 地域の活性化や安全・安心を支える交通環境の充実

- 本地域では、幹線道路の役割を担う都市計画道路鯉田中線、鯉田上三緒線が長期未着手となっており、必要性を再検討する必要があります。
- 飯塚オートレース場周辺では来場車両が住区内を通過するなど、交通安全面で問題を抱えており、住区内への通過車両を抑制することが課題です。また、幹線道路と鉄道との交差部では幅員の狭さなどの問題を抱えています。
- 産業・物流の効率を高めるため、鯉田工業団地と国道200号バイパスとのアクセス確保など基盤整備が必要です。
- 鯉田駅周辺、畝割地区では、狭あいな幅員区間が多く、救急車両の進入、通学路の安全性に問題を抱えており、生活道路の改善を図る必要があります。

《課題》

- 都市計画道路の必要性の再検討
- 飯塚オートレース場、鯉田工業団地から幹線道路へのアクセス道路の整備
- 鉄道交差部の整備・改善
- 生活道路の整備・改善

（3）公園緑地を活かした定住魅力の強化

- 本地域では、近年、人口減少が続いており、多世代が住みたくなるような定住魅力の強化を図ることが課題です。
- 公共下水道が未整備であり、水質の改善を図る上で、生活排水対策が課題となっています。
- 市民公園、旌忠公園などの基幹公園は充実していますが、飯塚第三中学校周辺、畝割地区周辺では身近な公園が不足しているため、公園施設の充実、適切な維持管理が求められています。



市民公園

《課題》

- 定住魅力の強化
- 公共下水道の計画的な推進
- 身近な公園の整備・改善と適切な維持管理

（4）身近な農地や樹林地、河川の保全と活用

- 一般県道鯉田停車場有井線、口の原川島線沿いには、まとまりある農地が広がっており、農業生産環境の維持を図るため、保全する必要があります。
- 市街地内には樹林地も多く、また、遠賀川河川敷ではサイクリング、散策などもできることから、良好な水辺や緑を活かして、潤いある環境の形成が求められます。



まとまりある農地

《課題》

- 優良農地の保全
- 親水性の高い河川環境の創出
- 市街地内に残る樹林地の保全・活用

4-2 地域の将来像と基本目標

(1) 将来像

身近な水、緑と調和し、やすらぎと活力のある
安全とゆとりのまちづくり

(2) 地域づくりの基本目標

①生活利便性が高く、安全で安心な居住環境のまちづくり

- 旌忠公園、市民公園などのレクリエーション施設、工業施設と住宅環境が調和し、身近に生活利便施設が整い、多世代が安全・安心して住み続けることのできるまちを目指します。

②生活や産業の交流が活発なまちづくり

- 国道 200 号バイパスが通過していることによる交通利便性、鯉田工業団地などの地域資源、炭鉱跡地などの低未利用地を活かし、生活・産業の交流活動の活性化に資するまちを目指します。

③やすらぎや潤いを与える自然環境と調和したまちづくり

- 市街地内に残る樹林地、優良農地、遠賀川河川敷などの良好な自然環境と生活・産業が調和し、四季折々の風景が楽しめ、やすらぎや潤いが感じられるまちを目指します。

4-3 地域のまちづくり方針

（1）土地利用

- 国道 200 号バイパス北側の住宅地は、低層のゆとりある住宅地や中高層住宅などで構成される住宅地としての土地利用を推進します。国道 200 号バイパス南側の住宅地は、今後も良好な居住環境を有する低層住宅地としての形成を図ります。
- 身近な生活サービス機能の集積が弱い鯉田駅周辺では、日常生活の利便性を高めるため、生活利便施設の誘導を進めます。
- 鯉田駅東側の一団となった低未利用地は、地域活力を高めるため、有効利用方策の検討を進めます。
- 鯉田公民館西側から国道 200 号バイパス沿いにかけての複合住宅地は、大規模集客施設の立地を抑制し、周辺の居住環境と調和した生活利便施設、中高層住宅の適切な誘導を進めます。
- 鯉田工業団地では、企業誘致を進めるとともに、工場立地後については、周辺の自然環境、居住環境に配慮した操業環境を維持します。
- 鯉田小学校周辺の用途地域外では、宅地化が進行しており、用途地域指定の検討を進めます。



国道 200 号バイパス北側の住宅地



鯉田工業団地

（2）交通ネットワーク

- 鯉田工業団地へのアクセスルートとなる都市計画道路鯉田中線の整備を進めます。その他の都市計画道路は、現道のある路線区間については現行の機能を分析するとともに将来需要を把握し、現道のない路線区間については代替となる周辺道路や周辺市街地の状況などを踏まえることにより、必要性の再検討を行います。
- 市街地では、小中学校周辺など歩行者交通の多い区間でのバリアフリー化など歩行環境の改善を進めます。市街地内の回遊性を高めるため、通学路や主要な公共公益施設を結ぶ道路の拡幅、歩道の整備を進めます。
- 鯉田駅周辺では、事業者との協働により、パークアンドライド、キスアンドライドなどの適切な駐車・駐輪場の整備を進めます。



鯉田駅

(3) 水・緑・歴史のまちづくり

- 遠賀川河川敷を活用し、自然とのふれあいの場として整備・改善を進めます。
- 公共下水道の計画的な整備とともに、浄化槽による排水処理施設の整備を促進します。
- 身近な公園が不足する飯塚第三中学校周辺、畝割地区では、未開設の都市計画公園である、伏原公園や畝割公園の計画的な整備を行い、既存の公園については地域住民との協働による維持管理を進めます。



遠賀川河川敷

(4) 安全・安心して暮らせるまちづくり

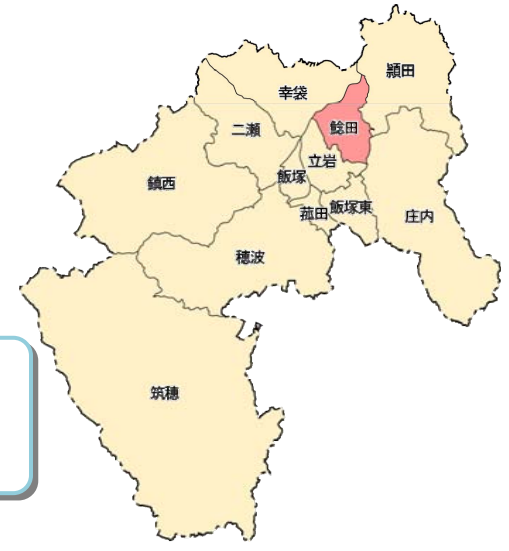
- 土砂災害や水害危険性の高い地域での危険性周知や宅地化の抑制を図ります。
- 幹線道路と鉄道の交差部では、道路拡幅や歩車分離などの交通安全対策、冠水対策の充実に取り組みます。
- 飯塚オートレース場周辺では、住区内への通過車両抑制策を検討していきます。
- 駅周辺や小中学校周辺など多くの人々が利用する道路でのバリアフリー化や、ガードレール・横断防止柵、道路照明灯などの交通安全施設の整備を進めます。



拡幅された歩道

■地域別まちづくり方針図

鯉田地域



- 【全体】**
- 用途地域外における市街化進行地区での用途地域の検討
 - 都市計画道路鯉田中線の整備
 - 長期未着手となっている都市計画道路の必要性の再検討
 - 主要な公共施設を結ぶ連続性ある道路の拡幅、歩道の整備
 - 公共下水道の計画的整備、浄化槽による排水処理施設の促進
 - 土砂災害や水害危険性の高い地域での危険性周知、宅地化の抑制
 - 低未利用地の有効利用方策の検討
 - 駅周辺や小中学校周辺など多くの人々が利用する道路でのバリアフリー化、ガードレール・横断防止柵、道路照明灯など交通安全施設の整備

- 【遠賀川河川敷】**
- 自然とのふれあいの場としての整備・改善

- 【国道200号バイパス北側の住宅地】**
- 鯉田駅周辺での身近な生活利便施設の誘導、適切な駐車・駐輪場の整備
 - 低層のゆとりある住宅地や中高層住宅などで構成される住宅地としての土地利用の推進
 - 通学路、主要な公共施設へアクセスする道路の拡幅、歩道、道路照明灯設置などの整備
 - 身近な公園における公園の改善及び地域住民との協働による公園の維持管理
 - 良好な樹林地の保全

- 【農地】**
- 優良農地の保全
 - 宅地化の抑制

- 【複合住宅地】**
- 大規模集客施設の立地抑制
 - 周辺の居住環境と調和した生活利便施設、中高層住宅の適切な誘導

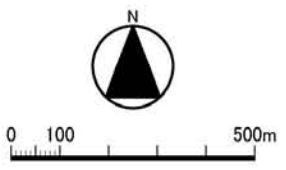
- 【工業地】**
- 企業誘致の推進
 - 周辺の自然環境、居住環境に配慮した操業環境の維持

- 【国道200号バイパス南側の住宅地】**
- 良好な居住環境を有する低層住宅地の形成
 - 幹線道路と鉄道の交差点での交通安全対策や冠水対策の推進

- 緑地の保全

- 【飯塚オートレース場周辺】**
- 住区内への通過車両抑制策の検討

住宅地	学術・研究開発拠点	広域都市間幹線道路
複合住宅地	工業拠点	都市間幹線道路
商業・業務地	レクリエーション拠点	都市内幹線道路
沿道商業地	歴史観光拠点	補助幹線道路
工業地	都市計画公園(開設)	都市計画道路(改良済)
集落地	都市計画公園(未開設)	都市計画道路(未改良)
農地	都市公園(開設)	(都) 都市計画道路(名称)
森林・樹林地	都市公園(未開設)	(一) 一般県道(名称)
市役所・支所	その他の都市施設	(主) 主要地方道(名称)
公民館	用途地域	水の軸
		歴史をつなぐ軸(長崎街道)



5. 幸袋地域のまちづくり方針

5-1 地域の現況と主要課題

(1) 生活利便施設や工業団地の集積を活かした活力ある地域の形成

- 目尾地区では、グリーンヒル、小呉竹、津島、目尾の各工業団地が集積しています。
- 地域資源である飯塚リサーチパーク、目尾工業団地などを活かして、産業の活性化を図る必要があります。
- 幸袋公民館周辺には郵便局、スーパー、商店などの生活利便施設が集積しており、今後も生活利便性を維持していく必要があります。



飯塚リサーチパーク

《課題》

- 飯塚リサーチパークなどの低未利用地の有効利用
- 生活利便性の維持



目尾工業団地

(2) 安全かつ快適な交通環境の形成

- 本地域では都市計画道路目尾忠隈線、菰田幸袋線、下田目尾線などの幹線道路が長期未着手となっており、必要性を再検討する必要があります。
- 小中学校の通学路などでは歩道がない区間があり、生活道路の安全性の確保が望まれています。

《課題》

- 都市計画道路の必要性の再検討
- 生活道路の整備・改善、通学路の安全性の確保



道路標示のある通学路（目尾小学校付近）

（3）産業拠点などへの近接性を活かした定住魅力の強化

- 本地域では人口が減少しており、特に西側の集落地では高齢化が進行しています。研究開発拠点、工業拠点の地域資源を活かし、若者から高齢者まで多世代が住み続けることのできる居住環境の形成が望めます。
- 用途地域外の庄司地区、目尾地区では、既に市街化している地区もあり、良好な土地利用の誘導を図る必要があります。

《課題》

- 多世代が住み続けられる居住環境の形成
- 宅地化が進んでいる地区への適正な土地利用の規制・誘導

（4）親しみやすい水辺や緑、歴史的街並みの創出

- 遠賀川の水辺環境を有効に活用することにより、親水性を高めていくことが望めます。
- 一部に公共下水道が未整備の区域が残っており、計画的な整備が課題となっています。
- 東部の住宅地では、身近に利用できる公園・広場が不足しています。
- 旧伊藤伝右衛門邸、健康の森公園、笠城ダム公園などの地域資源を活かして、多様な交流活動の場となる環境整備を進めることが重要となります。
- 本地域の西部には森林、まとまりある農地が広がっており、自然環境や農業生産環境の維持を図るため、保全する必要があります。
- 市街地や森林にある工業団地では、周辺環境と調和した操業環境を維持していくことが求められます。



旧伊藤伝右衛門邸



健康の森公園

《課題》

- 親水性の高い河川環境の創出
- 公共下水道の計画的な推進
- 身近に利用できる公園・広場の確保
- 良好な自然環境や優良農地の保全

5-2 地域の将来像と基本目標

(1) 将来像

旧伊藤伝右衛門邸や研究開発施設を活かし、多世代がいきいきと交流する
人が元気で住みやすいまちづくり

(2) 地域づくりの基本目標

①産業と暮らしが調和した活力あるまちづくり

- 福岡ソフトウェアセンター、e-ZUKAトライバレーセンターなどの研究開発施設、グリーンヒルなどの工業団地の集積を活かし、産業と暮らしが調和した活力あるまちを目指します。

②子どもから高齢者まで元気に暮らせるまちづくり

- 笠城ダム公園、健康の森公園などを活かして、多世代の多様な交流がいきいきと生まれ、元気に暮らすことのできるまちを目指します。

③環境を大切にしたまちづくり

- 本地域には、多くの工業団地が立地するとともに、市街地背後には良好な農地や自然豊かな森林が残されていることから、都市環境や自然環境を大切にしたまちを目指します。

5-3 地域のまちづくり方針

(1) 土地利用

- 用途地域外において市街化が進行している地区での用途地域指定の検討を進めます。
- 東部の住宅地は、低層のゆとりある住宅地としての土地利用を図ります。
- 南部の住宅地は、低層住宅や中高層住宅を中心とした土地利用を推進します。地区計画が定められた中地区、研究開発地区は、それぞれの地区にふさわしい土地利用を誘導していきます。
- 生活利便施設や住宅が立地している幸袋公民館周辺の複合住宅地は、大規模集客施設の立地を抑制し、周辺の居住環境と調和した生活利便施設や中高層住宅の適切な誘導を進めます。
- 沿道商業地は、商業・業務施設、都市型住宅を中心とした土地利用の誘導を進めます。
- 幸袋、津島、小呉竹の各工業団地が立地する工業地は、周辺環境に配慮した操業環境を維持していきます。また、目尾工業団地については、企業誘致を推進していきます。
- 飯塚リサーチパークでは、研究開発型企业、情報系産業など産業活性化に資する施設の誘導を中心に有効活用を進めます。



沿道商業地



○ ZUKA トライバレーセンター

(2) 交通ネットワーク

- 都市計画道路のうち、現道のある路線区間については現行の機能を分析するとともに将来需要を把握し、現道のない路線区間については代替となる周辺道路や周辺市街地の状況などを踏まえることにより、必要性の再検討を行います。
- 市街地では、小中学校周辺など歩行者交通の多い区間での歩車分離を進めます。
- 市街地内の回遊性を高めるため、主要な公共公益施設を結ぶ連続性ある歩道の整備を進めます。



都市計画道路鯉田中線（主要地方道飯塚福岡線）

(3) 水・緑・歴史のまちづくり

- 遠賀川河川敷では、親水性を高め、水辺で動植物とのふれあいが楽しめるような整備を進めます。
- 公共下水道の計画的な整備とともに、浄化槽による排水処理施設の整備を促進します。
- 東部の住宅地では、公園・広場など身近に利用できる公園・広場の設置や、地域住民との協働による維持管理を進めます。
- 笠城ダム公園、健康の森公園では利用しやすい施設の改善を進めます。
- クリーンセンター、衛生処理場、終末処理場の適切な維持管理とともに、処理施設における長寿命化や将来需要に対応した施設整備の検討を進めます。
- 旧伊藤伝右衛門邸周辺では、歴史情緒を活かした街並みの形成に努めます。



遠賀川河川敷



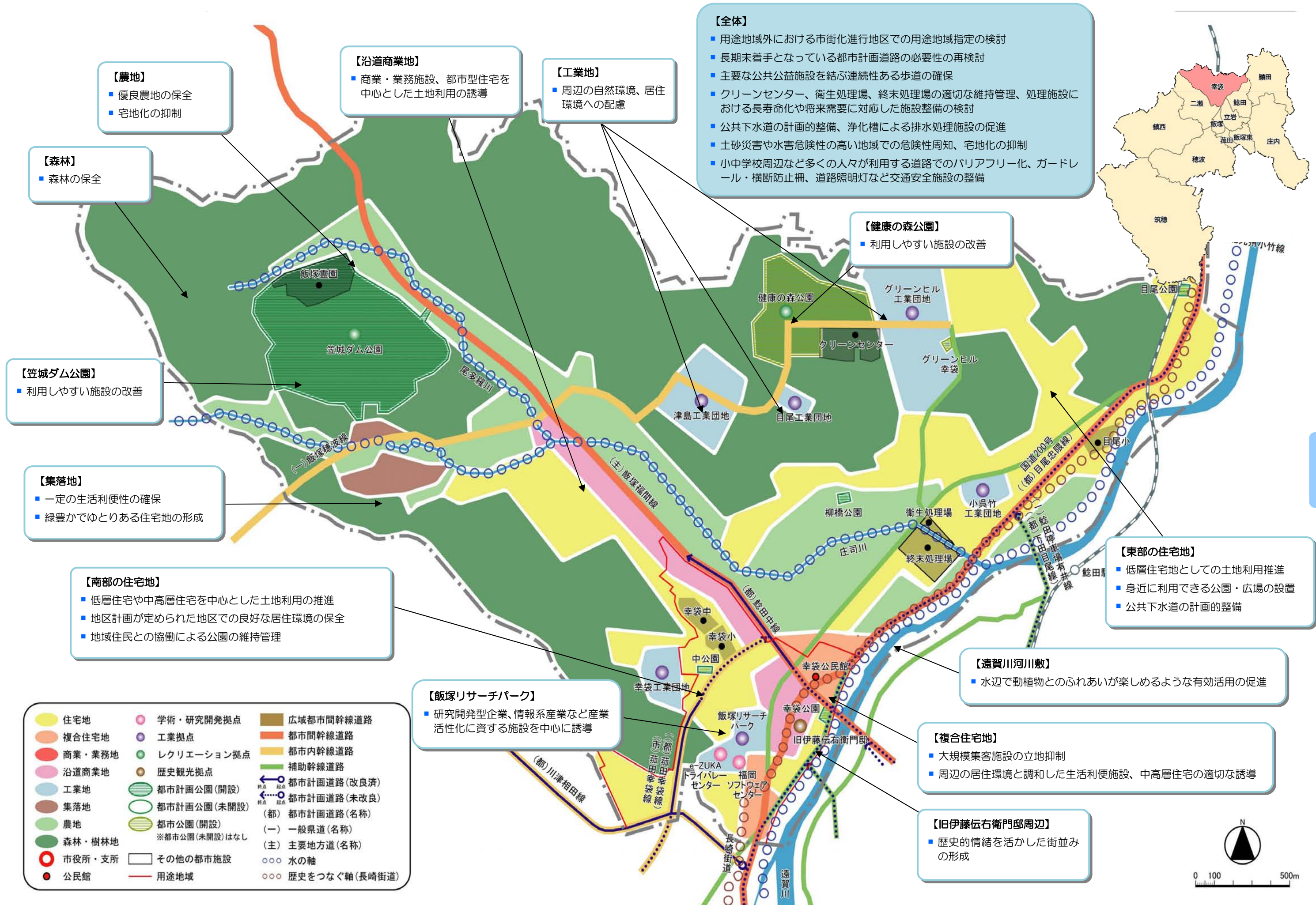
クリーンセンター

(4) 安全・安心して暮らせるまちづくり

- 小中学校周辺など多くの人々が利用する道路でのバリアフリー化や、ガードレール・横断防止柵、道路照明灯などの交通安全施設の整備を進めます。
- 土砂災害や水害危険性の高い地域での危険性周知や宅地化抑制を図ります。



冠水情報の発信装置



【全体】

- 用途地域外における市街化進行地区での用途地域指定の検討
- 長期未着手となっている都市計画道路の必要性の再検討
- 主要な公共公益施設を結ぶ連続性ある歩道の確保
- クリーンセンター、衛生処理場、終末処理場の適切な維持管理、処理施設における長寿命化や将来需要に対応した施設整備の検討
- 公共下水道の計画的整備、浄化槽による排水処理施設の促進
- 土砂災害や水害危険性の高い地域での危険性周知、宅地化の抑制
- 小中学校周辺など多くの人々が利用する道路でのバリアフリー化、ガードレール・横断防止柵、道路照明灯など交通安全施設の整備

【農地】

- 優良農地の保全
- 宅地化の抑制

【沿道商業地】

- 商業・業務施設、都市型住宅を中心とした土地利用の誘導

【工業地】

- 周辺の自然環境、居住環境への配慮

【森林】

- 森林の保全

【健康の森公園】

- 利用しやすい施設の改善

【笠城ダム公園】

- 利用しやすい施設の改善

【集落地】

- 一定の生活利便性の確保
- 緑豊かでゆとりある住宅地の形成

【東部の住宅地】

- 低層住宅地としての土地利用推進
- 身近に利用できる公園・広場の設置
- 公共下水道の計画的整備

【南部の住宅地】

- 低層住宅や中高層住宅を中心とした土地利用の推進
- 地区計画が定められた地区での良好な居住環境の保全
- 地域住民との協働による公園の維持管理

【遠賀川河川敷】

- 水辺で動植物とのふれあいが楽しめるような有効活用の促進

住宅地	学術・研究開発拠点	広域都市間幹線道路
複合住宅地	工業拠点	都市間幹線道路
商業・業務地	レクリエーション拠点	都市内幹線道路
沿道商業地	歴史観光拠点	補助幹線道路
工業地	都市計画公園(開設)	都市計画道路(改良済)
集落地	都市計画公園(未開設)	都市計画道路(未改良)
農地	都市公園(開設)	(都) 都市計画道路(名称)
森林・樹林地	都市公園(未開設) ※都市公園(未開設)はなし	(一) 一般県道(名称)
市役所・支所	その他の都市施設	(主) 主要地方道(名称)
公民館		水の軸
		歴史をつなぐ軸(長崎街道)

【飯塚リサーチパーク】

- 研究開発型企業、情報系産業など産業活性化に資する施設を中心に誘導

【複合住宅地】

- 大規模集客施設の立地抑制
- 周辺の居住環境と調和した生活利便施設、中高層住宅の適切な誘導

【旧伊藤伝右衛門邸周辺】

- 歴史的情緒を活かした街並みの形成

6. 二瀬地域のまちづくり方針

6-1 地域の現況と主要課題

(1) 住民と学生が共生できる地域の形成

- 地区計画が定められている伊岐須地区や相田地区、九州工業大学地区では、良好な住宅地や文教地区にふさわしい環境の維持・保全を図ることが重要です。
- 用途地域が指定されていない伊川地区や伊岐須地区西部では、住宅・商業・工業用地の混在がみられるため、適切な土地利用を誘導することが課題です。
- 中央部の住宅地では、身近な公園が充実していますが、高齢世帯の増加により維持管理が困難な公園もあるため、維持管理や利用のしやすい施設改善を図ることが求められます。



けやき台団地

《課題》

- 生活利便施設の確保
- 住環境や文教地区環境の維持・保全
- 市街地の状況に応じた用途地域指定の検討
- 身近な公園の改善と適切な維持管理

(2) 人や自転車にやさしい交通環境の形成

- 国道 201 号の渋滞解消に向け、交通の円滑化を図ることが課題となっています。市街地の骨格となっている都市計画道路伊川大谷線（国道 201 号）、相田伊岐須線及び菰田幸袋線の一部が長期未着手となっており、必要性を再検討する必要があります。
- 狭あいで歩道やガードレールのない生活道路が多く、生活道路の安全性の確保が望まれています。
- 学生などの自転車利用者が多いことから、人や自転車にも配慮した歩行環境の整備が重要です。



都市計画道路伊川大谷線（国道 201 号）

《課題》

- 都市計画道路の必要性の再検討
- 生活道路の整備・改善
- 人や自転車に配慮した歩行環境の創出

（3）憩いや安らぎを感じる自然環境の保全

- 河川や農業用水路に家庭排水が流入しており、水質改善を図るとともに、地域住民が憩うことのできる親水性の向上が求められています。
- 多様な動植物が生息する良好な森林や美しい田園風景、市街地内に残るまとまりある樹林地は、地域住民や学生にやすらぎを与える資源として保全することが課題です。
- 地域の北西部には、まとまりある農地が広がっており、農業生産環境の維持を図るため、保全する必要があります。



学園の森

《課題》

- 地域の実情に応じた排水処理施設整備の推進
- 親水性の高い河川環境の整備
- 優良農地の保全
- 良好な森林、市街地内の良好な樹林地の保全

（4）文教地区にふさわしい落ち着いた景観の形成

- 地区計画の定められている九州工業大学情報工学部周辺では、川津タウンスクエアや川津緑道などの憩い空間を活かし、文教地区にふさわしい街並みの創出を図ることが重要です。
- 景観を阻害する電柱や樹木へ掲示されている違法屋外広告物の規制を図ることも課題となっています。



川津緑道

《課題》

- 地区特性に適した街並み景観の整備・改善
- 違法屋外広告物などの規制強化

6-2 地域の将来像と基本目標

(1) 将来像

緑あふれる環境のなかで、多様な交流が育まれる
住民と学生が共生するまちづくり

(2) 地域づくりの基本目標

①多様なニーズに対応した、住み続けたいくなるまちづくり

- 本地域は、学生が多く居住していることから、幅広い世代のニーズに対応した生活利便施設の確保や、文教地区にふさわしい人や自転車を中心とした安全な移動空間など、住民はもとより学生にとっても住み続けたいくなるようなまちを目指します。

②多世代の活力が発揮され、多様な交流が育まれるまちづくり

- 小中学校や自治会活動に学生が積極的に参加するなど、地域と学生の多様な交流が行われており、今後も、地域住民の知恵や経験、学生の柔軟な発想や行動力など多世代の活力が発揮されるまちを目指します。

③緑豊かな文教地区にふさわしい落ち着いたあるまちづくり

- 地域外縁部を取り囲む森林や田園風景、大学周辺の樹林地など、緑豊かな環境と調和した文教地区として、落ち着いたある環境が維持されたまちを目指します。

6-3 地域のまちづくり方針

(1) 土地利用

- 用途地域外において市街化が進行している地区での用途地域の指定を検討します。
- 舞の浦団地や高雄団地、けやき台などの住宅地は、今後も低層のゆとりある住宅地としての土地利用を推進します。
- 横田や伊岐須地区など、低層や中高層住宅を中心とした住宅地は、周辺環境と調和した良好な住宅地としての土地利用を推進します。
- 集落地では、緑豊かでゆとりある住宅地を形成するとともに、一定の生活利便性を確保していきます。
- 地区計画が定められた伊岐須地区や相田地区は、良好な住宅地としての環境を保全していきます。
- 地区計画が定められた九州工業大学地区では、良好な居住環境や文教地区としての環境を保全するとともに、周辺地区も含め情報産業・学園都市としての景観形成を図ります。
- 店舗、病院、倉庫、住宅などが立地する川津地区や横田地区及び国道201号沿線の複合住宅地は、居住環境との調和を図るため、大規模集客施設の立地を抑制し、周辺の居住環境と調和した生活利便施設や中高層住宅の適切な誘導を進めます。
- 沿道商業地は、周辺の自然環境や景観に十分配慮し、商業・業務施設、都市型住宅を中心とした土地利用の誘導を進めます。
- 後牟田工業団地では、周辺の居住環境に配慮した操業環境を維持していきます。



低層住宅を中心とした分譲地



九州工業大学情報工学部

(2) 交通ネットワーク

- 都市計画道路のうち、現道のある路線区間については現行の機能を分析するとともに将来需要を把握し、現道のない路線区間については代替となる周辺道路や周辺市街地の状況などを踏まえることにより、必要性の再検討を行います。
- 市街地では、狭い生活道路の改善、車両が離合できる空間の確保を進めます。
- 市街地内の回遊性を高めるため、主要な公共施設を結ぶ連続性ある歩道の整備を進めます。



都市計画道路川津相田線

(3) 水・緑・歴史のまちづくり

- 建花寺川や相田川は、市街地内の身近な河川として、親水性の向上を図ります。
- 河川の水質改善や居住環境の向上を図るため、公共下水道の計画的整備を進めるとともに、農業集落排水、浄化槽による各地域に最も適した排水処理施設の整備を促進します。
- 既存の身近な公園は、地域住民との協働により、安全で利用しやすい公園としての改善や維持管理を進めます。
- 九州工業大学東側の学園の森を含む樹林地は、緑や動植物とのふれあい、憩いの場として環境を保全します。
- 情報産業・学園都市にふさわしい街並み景観の整備を推進します。



建花寺川

(4) 安全・安心して暮らせるまちづくり

- 小中学校や大学周辺など多くの人々が利用する道路でのバリアフリー化や、ガードレール・横断防止柵、道路照明灯などの交通安全施設の整備を進めます。

地域別まちづくり方針図

二瀬地域



- 【全体】**
- 用途地域外で市街化している地区での用途地域指定の検討
 - 長期未着手となっている都市計画道路の必要性の再検討
 - 狭あいな生活道路の改善や車両の離合空間の確保
 - 主要な公共公益施設を結ぶ連続性ある歩道の整備
 - 公共下水道の計画的整備、農業集落排水、浄化槽による各地域に最も適した排水処理施設の促進
 - 小中学校や大学周辺など多くの人々が利用する道路でのバリアフリー化、ガードレール・横断防止柵、道路照明灯など交通安全施設の整備

- 【森林】**
- 森林の保全

- 【建花寺川】**
- 市街地内の身近な河川として生態系に配慮した親水性の向上

- 【西部の住宅地】**
- 周辺環境と調和した良好な住宅地としての土地利用の推進
 - 地域住民との協働による安全で利用しやすい身近な公園の改善や維持管理

- 【集落地】**
- 緑豊かでゆとりある住宅地の形成
 - 幹線道路沿道などでの一定の生活利便性の確保

- 【農地】**
- 優良農地の保全
 - 宅地化の抑制

- 【丘陵地の住宅地】**
- 低層のゆとりある住宅地としての土地利用の推進
 - 地区計画が定められた地区での良好な居住環境の保全
 - 地域住民との協働による安全で利用しやすい身近な公園の改善や維持管理

- 【九州工業大学及び周辺】**
- 良好な文教地区としての環境保全
 - 情報産業・学園都市としての景観形成
 - 緑や動植物とのふれあい、憩いの場としての九州工業大学東側樹林地の保全

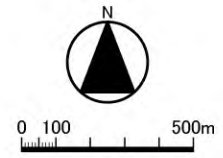
- 【東部の複合住宅地】**
- 大規模集客施設の立地抑制
 - 周辺の居住環境と調和した生活利便施設、中高層住宅の適切な誘導

- 【相田川・大日寺川】**
- 市街地内の身近な河川として生態系に配慮した親水性の向上

- 【工業地】**
- 周辺の居住環境に配慮した操業環境の維持

- 【沿道商業地】**
- 商業・業務施設、都市型住宅を中心とした土地利用の誘導

住宅地	学術・研究開発拠点	広域都市間幹線道路
複合住宅地	工業拠点	都市間幹線道路
商業・業務地	レクリエーション拠点	都市内幹線道路
沿道商業地	歴史観光拠点	補助幹線道路
工業地	都市計画公園(開設)	都市計画道路(改良済)
集落地	都市計画公園(未開設)	都市計画道路(未改良)
農地	都市公園(開設)	(都) 都市計画道路(名称)
森林・樹林地	都市公園(未開設)	(一) 一般県道(名称)
市役所・支所	その他の都市施設	(主) 主要地方道(名称)
公民館	用途地域	〇〇 水の軸
		〇〇 歴史をつなぐ軸(長崎街道)



7. 鎮西地域のまちづくり方針

7-1 地域の現況と主要課題

(1) 周辺環境と調和した計画的な土地利用誘導

- 本地域は用途地域が無指定であり、潤野、花瀬、大日寺地区では大規模な分譲団地や小規模開発による宅地化が進行しています。農地や自然環境と調和のとれた市街地形成を図るため、市街地の状況に応じた適正な土地利用の規制・誘導が必要です。
- 大部分が公共下水道整備区域外であるため、計画的な排水処理施設の整備が課題です。
- 近隣住民の利用に資する住区基幹公園が花瀬公園と明星寺公園のみであるため、避難地でもある身近な公園の計画的な整備や適切な維持管理を図ることが求められます。



宅地化の進行する地区

《課題》

- 市街地の状況に応じた用途地域指定の検討
- 地域特性に応じた排水処理施設整備の推進
- 身近な公園の改善と適切な維持管理

(2) 安全かつ快適な交通環境の形成

- 一般県道飯塚穂波線の整備が進められていますが、市街地の骨格となっている都市計画道路伊川大谷線（国道 201 号）、新飯塚花瀬線が長期未着手となっており、必要性を再検討する必要があります。
- 国道 201 号は、小中学校の通学路として利用されていますが、大型車の通行も多いため、安全性の確保が望まれています。
- 地域内の生活道路は、狭あいな区間や通行上の不便さを指摘される箇所が多いため、生活道路の安全性の確保が求められています。



大型車の通行が多い通学路（国道 201 号）

《課題》

- 都市計画道路の必要性の再検討
- 国道 201 号の歩行者安全性の確保
- 生活道路の整備・改善

（3）恵まれた優良農地や自然環境の保全

- 河川や農業用水路に家庭排水が流入しており、水質改善を図るとともに、地域住民が潤い、憩うことのできる親水性の向上が求められています。
- 本地域は潤野地区、花瀬地区をはじめ、市内でも比較的農地転用が多い地域です。地域の東部および八木山川沿いには、まとまりある農地が残っており、農業生産環境の維持を図るため、保全する必要があります。
- 地域西部の太宰府県立自然公園をはじめとする森林、河川、ため池などの良好な自然環境やホテルなど貴重な動植物の生息環境の保全を図るとともに、地域住民や団体との協働により自然環境を活かした活動を拡げていくことが望まれています。



まとまりある農地

《課題》

- 優良農地の保全
- 良好な森林資源の保全
- 親水性の高い水辺環境の保全
- 動植物の生息環境の保全

（4）良好な景観や眺望の維持・創出に向けた取り組みの推進

- 市内の多くの場所から望むことのできる龍王山に連なる山並みは、原風景とも言えます。また、八木山地区に広がる里山の風景は、ふるさとも感じさせる景観要素でもあるため、これらの保全に努める必要があります。
- 本地域には、本市の中心市街地を一望できる八木山展望公園をはじめ、溪流公園、花木園などのレクリエーション施設、国指定の天然記念物であるカツラの木などが点在しています。これら資源の利用促進に向けた機能拡充が望まれています。



八木山展望公園からの眺望

《課題》

- 自然や眺望が楽しめるレクリエーション施設の機能充実

7-2 地域の将来像と基本目標

(1) 将来像

豊かな緑と清らかな川を大切にする
いやしとやすらぎのまちづくり

(2) 地域づくりの基本目標

① やすらぎある居住環境のまちづくり

- 郊外の緑豊かな環境を有する一方で、近年では宅地化の進展が見られる本地域では、自然環境の保全を基本に、適切な土地利用誘導を図り、やすらぎある居住環境が確保されたまちを目指します。

② 豊かな自然と田園集落を守り、育むまちづくり

- 太宰府県立自然公園の豊かな緑、ホタルやメダカの生息する清流、田園、自然と調和した集落地など恵まれた自然環境を守り、活用することにより、次世代に受け継ぐまちを目指します。

③ 自然、農業、伝統行事を活かした交流が息づくまちづくり

- 広域アクセス利便性の高い国道201号の交通条件と、八木山溪流公園、農産物直売所、神社、伝統行事などの地域資源を活かして、自然、農業、歴史文化など多様な交流活動が活発なまちを目指します。

7-3 地域のまちづくり方針

(1) 土地利用

- 潤野、花瀬、大日寺地区などの住宅地は、ゆとりある低層の住宅地としての土地利用を推進し、良好な住宅地形成に向けて、用途地域の指定など適切な土地利用規制を検討します。
- 潤野工業団地では、周辺の自然環境や居住環境に配慮した操業環境を維持していきます。
- 八木山や建花寺地区をはじめとした集落地は、緑豊かでゆとりある住宅地を形成するとともに、一定の生活利便性を確保していきます。
- 森林や農地を活かし、レクリエーション、環境学習、農業とのふれあいなど多様な活動の場としての活用を図ります。



低層の住宅地

(2) 交通ネットワーク

- 南北方向の交通利便性の向上を図るため、一般県道飯塚穂波線の整備を促進します。
- 都市計画道路のうち、現道のある路線区間については現行の機能を分析するとともに将来需要を把握し、現道のない路線区間については代替となる周辺道路や周辺市街地の状況などを踏まえることにより、必要性の再検討を行います。
- 通学路や主要な公共公益施設へアクセスする道路の拡幅を進めます。



道路標識がある通学路（潤野小学校付近）

(3) 水・緑・歴史のまちづくり

- 八木山川、建花寺川などは、ホテルやメダカの生態系に配慮した親水性の高い環境の創出とともに水源地の保全を図ります。
- 河川の水質改善や居住環境の向上を図るため、公共下水道の計画的整備を進めるとともに、農業集落排水、浄化槽による各地域に最も適した排水処理施設の整備を促進します。
- 地域全体で身近な公園が不足しているため、緑の基本計画に基づく適切な公園の配置検討や、地域住民との協働による維持管理を進めます。
- 龍王山に連なる山々は、太宰府県立自然公園に指定されている貴重な自然環境であり、良好な山並み景観を保全します。
- 八木山溪流公園や八木山展望公園、花木園などの自然に囲まれたレクリエーション施設の有効活用を図るとともに、周辺の国指定天然記念物カツラの木、六地藏などを巡るハイキングコース、休憩所などの整備を図ります。
- 市街地や山並みへの眺望を阻害する建物、屋外広告物の抑制を進めます。
- 幹線道路沿道では、自然環境、田園環境に配慮し、福岡方面からの主要アクセスルートにふさわしい良好な沿道景観の形成に取り組みます。



八木山溪流公園の清流

(4) 安全・安心して暮らせるまちづくり

- 小中学校周辺など多くの人々が利用する道路でのバリアフリー化や、ガードレール・横断防止柵、道路照明灯などの交通安全施設の整備を進めます。
- 土砂災害や水害危険性の高い地域での危険性周知や宅地化抑制を図ります。



小学校横の横断防止柵

■地域別まちづくり方針図

鎮西地域

- 【全体】**
- 長期未着手となっている都市計画道路の必要性の再検討
 - 通学路や主要な公共施設へアクセスする道路の拡幅
 - 公共下水道の計画的整備、農業集落排水、浄化槽による各地域に最も適した排水処理施設の促進
 - 市街地や山並みへの眺望を阻害する建物、屋外広告物の抑制
 - 自然環境、田園環境に配慮した良好な幹線道路沿道景観の形成
 - 小中学校周辺など多くの人々が利用する道路でのバリアフリー化、ガードレール・横断防止柵、道路照明灯など交通安全施設の整備
 - 土砂災害などの危険性の高い地域での危険性の周知、宅地化の抑制

- 【八木山溪流公園など】**
- 八木山溪流公園や八木山展望公園、花木園などレクリエーション施設の有効活用
 - レクリエーション施設やその周辺の国指定天然記念物カツラの木や六地藏などを巡るハイキングコース、休憩所などの整備

- 【森林】**
- 豊かな自然環境の保全・活用
 - レクリエーション、環境学習の場としての活用
 - ホタルやメダカの生息環境の保全・活用
 - 市街地からの良好な山並み景観の保全

住宅地	学術・研究開発拠点	広域都市間幹線道路
複合住宅地	工業拠点	都市間幹線道路
商業・業務地	レクリエーション拠点	都市内幹線道路
沿道商業地	歴史観光拠点	補助幹線道路
工業地	都市計画公園(開設)	都市計画道路(改良済)
集落地	都市計画公園(未開設)	都市計画道路(未改良)
農地	都市公園(開設)	(都) 都市計画道路(名称)
森林・樹林地	都市公園(未開設)	(一) 一般県道(名称)
市役所・支所	※都市公園(未開設)はなし	(主) 主要地方道(名称)
公民館	その他の都市施設	〇〇〇 水の軸
	用途地域	〇〇〇 歴史をつなぐ軸(長崎街道)

- 【八木山川・建花寺川】**
- 生態系に配慮した親水性の高い環境の創出
 - 水源地の保全

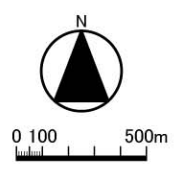
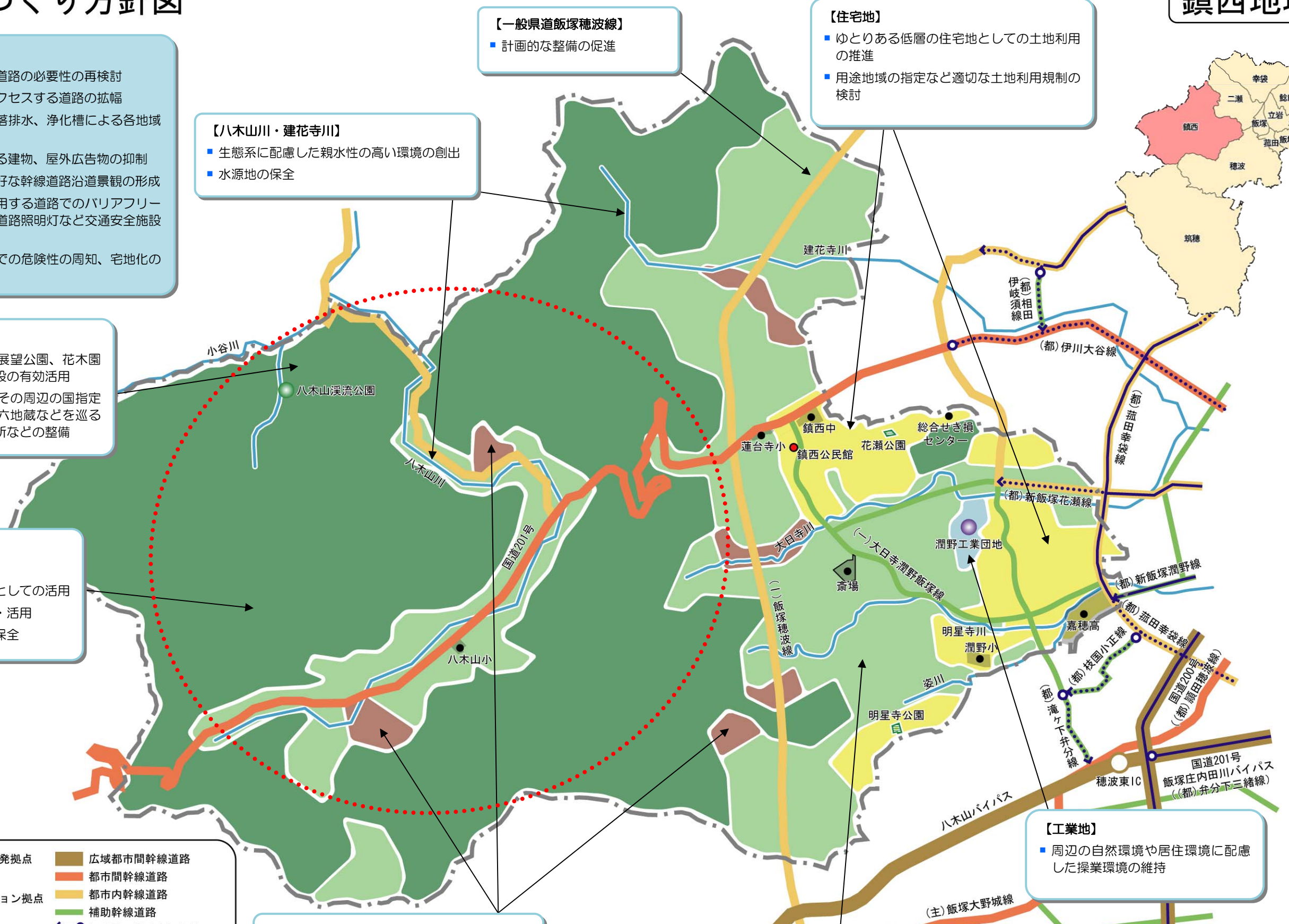
- 【一般県道飯塚穂波線】**
- 計画的な整備の促進

- 【住宅地】**
- ゆとりある低層の住宅地としての土地利用の推進
 - 用途地域の指定など適切な土地利用規制の検討

- 【集落地】**
- 緑豊かでゆとりある住宅地の形成
 - 幹線道路沿道などでの一定の生活利便性の確保

- 【農地】**
- 優良農地の保全
 - 宅地化の抑制
 - レクリエーション、環境学習、農業とのふれあいの場としての活用

- 【工業地】**
- 周辺の自然環境や居住環境に配慮した操業環境の維持

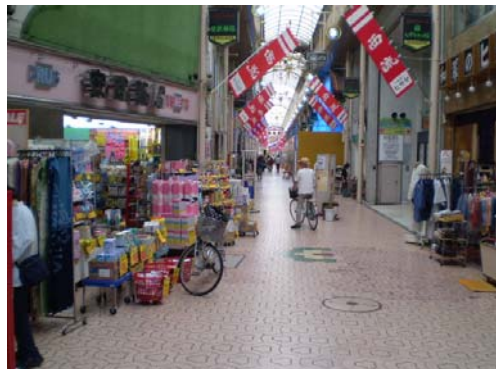


8. 飯塚地域のまちづくり方針

8-1 地域の現況と主要課題

(1) 中心拠点にふさわしい活力・賑わいの再生

- 本地域は、人口減少や中心商業地における空き店舗・空き事務所の増加などにより、街なかの空洞化や経済活力が低下しています。再開発ビルや文化施設との連携を図りながら、住む人や訪れる人の多様な交流を育み、都市の歴史文化を楽しめるような、賑わいのある街なかを創出することが課題です。



本町商店街

《課題》

- 空き地・空き店舗などの有効利用
- 中心拠点にふさわしい賑わいの創出
- 商業・業務機能の集積強化

(2) 人にやさしく円滑な交通環境の形成

- 国道200号バイパスでは立体交差事業が進められていますが、幹線道路である都市計画道路伊川大谷線、目尾忠隈線や、片島天道線、新飯塚潤野線の一部が長期未着手となっており、必要性を再検討する必要があります。
- 歩道や生活道路に幅員が狭い区間があるため、歩車共存道路など中心拠点にふさわしい円滑で安全な交通環境の整備を進めることが課題です。



国道200号バイパス

- 中心市街地周辺では、バス、一般車両が集中するとともに、路上駐車により、交通の円滑性を欠く箇所もあります。

《課題》

- 都市計画道路の必要性の再検討
- 歩道や生活道路の整備・改善
- 路上駐車への対応や交通結節機能の強化

(3) 安全で利便性に優れた街なか居住の推進

- 近年、分譲型の集合住宅建設も見られることから、若者から高齢者まで多世代が歩いて暮らせる便利な居住環境の改善に資する整備が望まれます。
- 河川周辺の低平地には、老朽化した木造建築が密集する街区や、イイツカコスモスコモン、嘉穂劇場など多様な拠点施設が集積しており、水害や都市災害に強いまちづくりを進める必要があります。



イイツカコスモスコモン

《課題》

- 街なか居住の促進
- 市街地の防災性強化
- 身近な避難地の整備・見直し

(4) 地域資源を活かした都市景観の創出

- 多くの人々が集まる地域であるため、主要な公共施設、河川までの案内誘導など歩き回ることが楽しくなるような移動環境の創出が課題となります。
- 飯塚緑道、長崎街道を活かし、中心商業・業務地にふさわしい景観の形成が望まれます。
- 本地域には、イイツカコスモスコモン、嘉穂劇場などの拠点施設がありますが、個々に立地しているため地域全体として文化性や歴史性が感じられにくい状況です。これらの資源を活かして、飯塚らしさが感じられる連続性ある都市景観の創出を図ることが求められます。



飯塚緑道

《課題》

- 歩き回ることが楽しくなる移動環境の創出
- 長崎街道の有効利用
- 飯塚らしさを感じさせる都市景観の創出

8-2 地域の将来像と基本目標

（1）将来像

住む人、訪れる人の多様な出会いを育む
賑わいとふれあいにあふれた
交流のまちづくり

（2）地域づくりの基本目標

①多くの人の交流を育む賑わいあるまちづくり

- 本地域は、商業・業務、文化、医療などの都市機能が集積しており、中心拠点として多くの人々が集まる地域であるため、人々の集まりから生まれる多様な交流をさまざまな場において育み、活力あるまちを目指します。

②安全で快適な生活のできるまちづくり

- 多様な都市機能の集積を活かして、生活利便性が高く、水、緑、歴史とふれあえる環境を創出し、街なか居住を進めることにより、多世代が住み続けることのできるまちを目指します。

③豊富な文化資源を活かし、街なか文化を創造、発信するまちづくり

- 商店街、長崎街道をはじめ、イイツカコスモスモン、嘉穂劇場など本市を代表する拠点施設を活かして、新たな街なか文化を創出し、その発信源として機能するようなまちを目指します。

8-3 地域のまちづくり方針

(1) 土地利用

- 多くの寺社が立地する西徳前などの住宅地は、周辺の緑と調和し、低層住宅と中高層住宅を中心とした住宅地として維持します。
- 中心商店街が立地する商業・業務地は、地元商店街、大学などの連携による活性化の取組みが進んでいます。今後も地域の創意工夫に基づく魅力ある商店街づくりへの支援や、商店街の連続性を高め、魅力と賑わいがあり、ゆっくり時間を過ごすことのできる商業地の形成を図ります。また、筑豊地域の経済を牽引する賑わいのある中心拠点として、既存ストック、民間活力を活かし、業務、娯楽、介護・文化・情報などの新たな都市型産業、生活利便施設を誘導するとともに、街なか居住にふさわしい都市型住宅や高齢者・障がい者にとって住みやすい住宅の誘導、低未利用地の有効利用などによる土地の高度利用を促進します。
- 主要地方道大日寺潤野飯塚線沿いの沿道商業地や、国道200号バイパス、国道201号、211号沿いの複合住宅地では、大規模集客施設の立地を抑制し、周辺の居住環境と調和した商業・業務施設、都市型住宅を中心とした土地利用の誘導を進めます。



市街地再開発ビル（あいタウン）



沿道商業地

(2) 交通ネットワーク

- 主要交差点の改良を進めます。都市計画道路のうち、現道のある路線区間については現行の機能を分析するとともに将来需要を把握し、現道のない路線区間については代替となる周辺道路や周辺市街地の状況などを踏まえることにより、必要性の再検討を行います。
- 通学路や主要な公共施設へアクセスする道路の拡幅を進めます。
- 違法駐車・駐輪対策の強化をはじめ、歩車共存道路の整備、狭い生活道路の改善、主要な歩行者ルートとなる区間でのバリアフリー化などの改善を進めます。
- 西鉄バスセンター、飯塚緑道、遠賀川河川敷、イヅカコスモスコモン、嘉穂劇場を楽しく回遊できるように歩行路面や案内情報の充実を図ります。



交差点改良によって整備された小広場



情報案内板

(3) 水・緑・歴史のまちづくり

- 片島公園、稲荷公園の計画的整備とともに、地域住民との協働により、利用しやすい公園としての維持管理を進めます。飯塚緑道は、植栽などの維持管理に努め、都市景観の向上に配慮した整備を図ります。勝盛公園は、バリアフリー化や芝生広場の整備など、利便性・景観・都市防災などに配慮した整備を図ります。
- 商業・業務地では、歴史情緒や賑わいを感じることのできる景観形成を図ります。



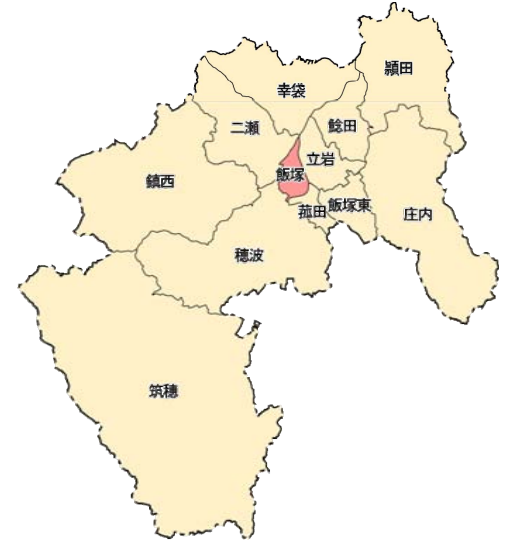
勝盛公園

(4) 安全・安心して暮らせるまちづくり

- 老朽化した木造建築が密集する地区での計画的な市街地改善を進めます。
- 商業・業務地、沿道商業地では、耐火性、耐震性の高い建物の誘導を進めます。
- 避難地である小学校、公園の防災機能を強化するとともに、避難地までの誘導案内の強化に取り組みます。
- 小学校周辺など多くの人々が利用する道路でのバリアフリー化、ガードレール・横断防止柵、道路照明灯など交通安全施設の整備を進めます。

■ 地域別まちづくり方針図

飯塚地域



- 【全体】**
- 主要交差点の改良
 - 長期未着手となっている都市計画道路の必要性の再検討
 - 違法駐車・駐輪対策の強化や歩車共存道路の整備
 - 狭あいな生活道路の改善
 - 主要な歩行者ルートとなる区間でのバリアフリー化、公共公益施設を楽しく回遊できる歩行路面の整備、案内情報の充実
 - 片島公園、稲荷公園の計画的整備、地域住民との協働による公園の維持管理
 - 避難地である小学校、公園の防災機能の強化
 - 避難地までの誘導案内の強化
 - 小学校周辺など多くの人々が利用する道路でのバリアフリー化、ガードレール・横断防止柵、道路照明灯など交通安全施設の整備

- 【複合住宅地】**
- 大規模集客施設の立地抑制
 - 周辺の居住環境と調和した商業・業務施設、都市型住宅を中心とした土地利用の誘導

- 【勝盛公園】**
- バリアフリー化や芝生広場の整備など、利便性・景観・都市防災などに配慮した整備

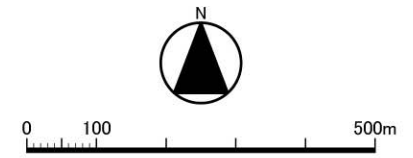
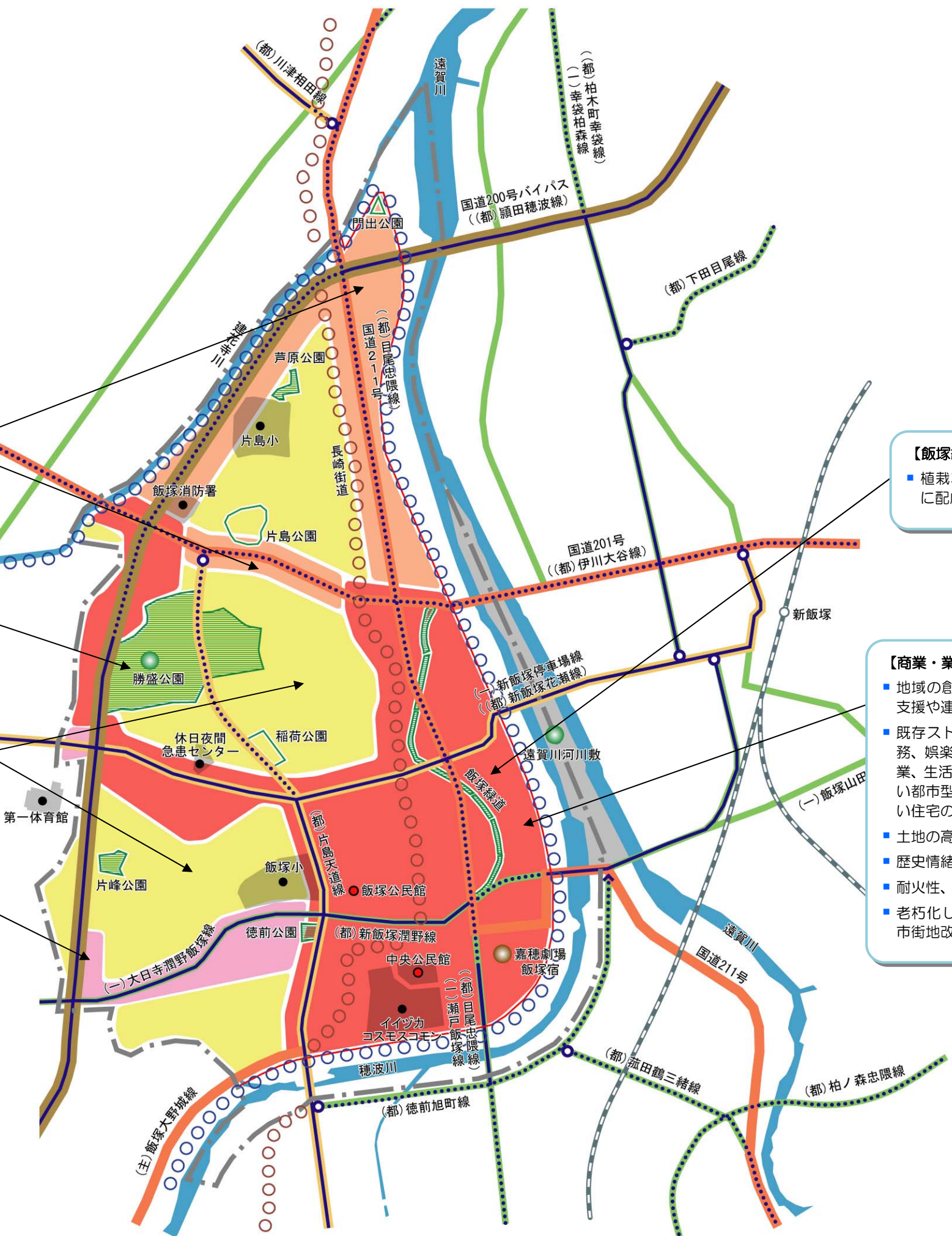
- 【住宅地】**
- 周辺の緑と調和した良好な住宅地としての維持

- 【沿道商業地】**
- 周辺の居住環境に配慮し、商業・業務施設、都市型住宅を中心とした土地利用の誘導
 - 耐火性、耐震性の高い建物の誘導

- 【飯塚緑道】**
- 植栽などの維持管理による都市景観の向上に配慮した整備

- 【商業・業務地】**
- 地域の創意工夫に基づく魅力ある商店街づくりの支援や連続性ある商店街の形成
 - 既存ストックや民間活力を活かした商業施設、業務、娯楽、介護・文化・情報などの新たな都市型産業、生活利便施設の誘導、街なか居住地にふさわしい都市型住宅、高齢者・障がい者にとって住みやすい住宅の誘導
 - 土地の高度利用や低未利用地の有効利用の促進
 - 歴史情緒や賑わいを感じることのできる景観形成
 - 耐火性、耐震性の高い建物の誘導
 - 老朽化した木造建築が密集する地区での計画的な市街地改善

住宅地	学術・研究開発拠点	広域都市間幹線道路
複合住宅地	工業拠点	都市間幹線道路
商業・業務地	レクリエーション拠点	都市内幹線道路
沿道商業地	歴史観光拠点	補助幹線道路
工業地	都市計画公園(開設)	都市計画道路(改良)
集落地	都市計画公園(未開設)	都市計画道路(未改良)
農地	都市公園(開設)	(都) 都市計画道路(名称)
森林・樹林地	※都市公園(未開設)はなし	(一) 一般県道(名称)
市役所・支所	その他の都市施設	(主) 主要地方道(名称)
公民館	用途地域	水の軸
		歴史をつなぐ軸(長崎街道)



9. 立岩地域のまちづくり方針

9-1 地域の現況と主要課題

(1) 中心拠点にふさわしい活力・賑わいの再生

- 本地域には、市役所、合同庁舎、近畿大学産業理工学部など拠点施設が立地しています。多くの人々が集まる中心拠点の一角を担う地域として、総合行政、広域情報発信、広域交流、学術・研究など高次な都市機能を維持するとともに、南部、新飯塚駅周辺の低未利用地については、広域交通の利便性を活かし、有効活用することが課題となっています。
- 駅西側の商店街では、中心市街地にふさわしい賑わいの創出が望まれます。



市役所本庁舎

《課題》

- 商業・業務機能の集積強化
- 低未利用地の有効利用
- 中心拠点にふさわしい賑わいの創出

(2) 人にやさしく円滑な交通環境の形成

- 中心拠点にふさわしい円滑な交通環境を創出することが求められますが、幹線道路である都市計画道路伊川大谷線、鯉田上三緒線、立岩下三緒線、下田目尾線が長期未着手となっており、必要性を再検討する必要があります。
- 高次都市機能が集積し、多くの人が集まり、教育施設が充実している地域であるため、生活道路の整備・改善や、駅・バス停などの交通結節点での機能強化を図るとともに、人にやさしい歩行環境の創出が求められます。



都市計画道路新飯塚花瀬線

《課題》

- 都市計画道路の必要性の再検討
- 生活道路の整備・改善
- 交通結節機能の強化
- 人にやさしい歩行環境の創出



カラー舗装による歩車分離

（3）交通利便性を活かした安全で快適な街なか居住の推進

- 新飯塚駅周辺では、都市型住宅の建設などにより、人口が増加している地域も見られます。今後も、広域交通の利便性を活かし、生活利便性の高い定住環境の形成が望まれます。
- 高次都市機能の集積する地区であるため、自然災害や都市災害に強い市街地形成を図る必要があります。住宅地や商業・業務地では、未整備の公園が残っていることから、避難地、避難誘導の強化が課題となっています。



新飯塚駅西口

《課題》

- 街なか居住の促進
- 身近な公園の整備・改善と適切な維持管理
- 市街地の防災性強化
- 避難地、避難誘導の強化



防災センター

（4）水、緑を活かした良好な都市空間の創出

- 飯塚市を代表する憩いの場として遠賀川中の島が整備されました。花などの彩りを添えるなど、より魅力的な親水空間としての環境を整える必要があります。
- 遠賀川、新川の水辺環境や市街地内に残る樹林地を活かし、定住魅力の高いまちづくりを進める必要があります。



遠賀川中の島

《課題》

- 親水性の高い河川環境の整備
- 市街地内に残る樹林地の保全・活用

9-2 地域の将来像と基本目標

(1) 将来像

水と都市が融和した
飯塚の玄関口にふさわしい活力と風格のあるまちづくり

(2) 地域づくりの基本目標

①多くの人々の交流を育む活力あるまちづくり

- 本地域は、総合行政、医療・福祉、教育文化、学術・研究など、筑豊地域を代表する高次な都市機能が集積し、中心拠点として多くの人々が集まる地域であるため、人々の集まりから生まれる多様な交流をさまざまな場において育み、活力あるまちを目指します。

②生活利便性が高く、安全で安心な居住環境のあるまちづくり

- 高次な都市機能が集積し、広域圏からの交通利便性も高いことから、生活利便性が高く、安全で安心な居住環境が確保されたまちを目指します。

③水と緑の自然環境と調和したまちづくり

- 本市の玄関口である新飯塚駅を活かし、賑わいや拠点性の感じられる景観の創出や、遠賀川と都市とが調和し、落ち着きのある文教環境が維持されたまちを目指します。

9-3 地域のまちづくり方針

（1）土地利用

- 近畿大学産業理工学部をはじめ、高校、ポリテクセンターなど教育施設の充実する本地域では、周辺の自然環境豊かな緑、教育施設と調和した良好な居住環境を維持します。
- 長期未着手となっている立岩・川島土地区画整理事業については、地元の意向を踏まえるとともに、今後の土地利用の状況、費用対効果など総合的な視点から見直しなどの検討を進めます。
- 国道201号南側の住宅地では、ゆとりある低層住宅、中高層住宅で構成される良好な居住環境の維持や、地域活力を高めるための低未利用地の有効利用の検討を進めます。
- 国道200号バイパス沿いの複合住宅地では、大規模集客施設の立地を抑制し、周辺の居住環境と調和した生活利便施設、都市型住宅の誘導を図ります。
- 多くの行政施設が集積する芳雄町、新飯塚、新立岩にかけての商業・業務地は、商業・業務、総合行政、広域情報発信、都市型産業など高次な都市機能を維持するとともに、都市型住宅の誘導などにより土地の高度利用を促進します。
- 新飯塚駅東側の低未利用地は、商業・業務地として、中心市街地の賑わい、定住魅力の増大に資する土地利用を進めます。駅西側の商店街は、東側の商業・業務地との連携を高め、飯塚病院・市役所方面への連続性ある商店街としての再生を図ります。
- 沿道商業地では、周辺環境に配慮し、商業・業務施設、都市型住宅を中心とした土地利用の誘導を進めます。



近畿大学産業理工学部



沿道商業地

（2）交通ネットワーク

- 主要交差点の改良を進めます。都市計画道路のうち、現道のある路線区間については現行の機能を分析するとともに将来需要を把握し、現道のない路線区間については代替となる周辺道路や周辺市街地の状況などを踏まえることにより、必要性の再検討を行います。
- 新飯塚駅前広場を起点に、商店街、主要な公共公益施設を結ぶ歩行者ルートにおいて、地域住民との協働により、休憩空間の確保に努めます。



整備された一般県道飯塚山田線

- 街なかの回遊性を高めるため、新飯塚駅、歴史資料館、ハローワークなどの主要公共公益施設、遠賀川中の島を楽しく回遊できるような歩行路面や案内情報の充実を図ります。
- 駅周辺では、事業者との協働により、パークアンドライド、キスアンドライドなどの適切な駐車・駐輪場の整備を進めます。

(3) 水・緑・歴史のまちづくり

- 旌忠公園などの身近な公園の計画的な改善や、未開設である立岩公園、春ヶ丘公園、立石公園、立石北公園の計画的な整備を進めるとともに、地域住民との協働により、安全で利用しやすい公園としての維持管理を進めます。
- 商業・業務地では、中心拠点にふさわしい質の高い都市景観の形成を図ります。新飯塚駅周辺は、駅舎・駅前広場を活かし、飯塚の玄関口にふさわしい景観の形成を図ります。
- 遠賀川河川敷では、多くの人々が水辺に親しむことのできる憩いの空間を創出するとともに、自然とのふれあいやサイクリング、市街地のオープンスペースとして適切な河川景観の整備を促進します。



旌忠公園

(4) 安全・安心して暮らせるまちづくり

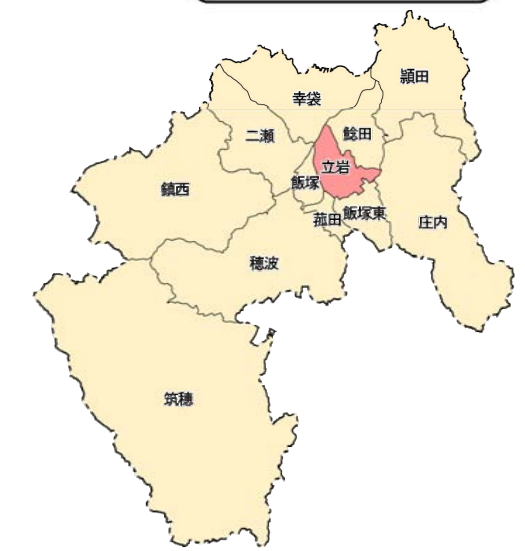
- 駅周辺や小中学校周辺など多くの人々が利用する道路でのバリアフリー化や、ガードレール・横断防止柵、道路照明灯などの交通安全施設の整備を進めます。
- 商業・業務地、沿道商業地では、耐火性、耐震性の高い建物の誘導を進めます。
- 避難地の防災機能を高める施設改善を進めるとともに、建替えと一体的な避難路の確保や、避難地までの誘導案内の強化に取り組みます。



バリアフリー化された歩道

地域別まちづくり方針図

立岩地域



- 【全体】**
- 駅周辺や小中学校周辺など多くの人々が利用する道路でのバリアフリー化、ガードレール・横断防止柵、道路照明灯など交通安全施設の整備
 - 商店街、主要な公共施設を結ぶ歩行者ルートにおける休憩空間の確保
 - 新飯塚駅、歴史資料館、ハローワークなどの主要公共施設、遠賀川中の島を楽しく回遊できる歩行路面や案内情報の充実
 - 地域住民との協働による公園の維持管理
 - 避難地である小中学校、公園の防災機能の強化
 - 避難地までの誘導案内の強化
 - 長期未着手となっている都市計画道路の必要性の再検討

- 【川島地区】**
- 地元意向を踏まえた土地区画整理事業の見直しなどの検討

- 【複合住宅地】**
- 大規模集客施設の立地の抑制
 - 周辺の居住環境と調和した生活利便施設、都市型住宅の誘導

- 【駅東側の商業・業務地】**
- 中心市街地の賑わい、定住魅力の増大に資する土地利用の推進

- 【国道201号北側の住宅地】**
- 周辺の緑、教育施設と調和した良好な居住環境の維持
 - 身近な公園の計画的整備・改善

- 【商業・業務地】**
- 商業・業務、総合行政、広域情報発信、都市型産業など高次な都市機能の維持・強化
 - 都市型住宅の誘導などによる土地の高度利用の促進
 - 駅東側の商業・業務地と連携した魅力ある西側商店街の再生
 - 中心拠点にふさわしい質の高い都市景観の形成
 - 耐火性、耐震性の高い建物の誘導

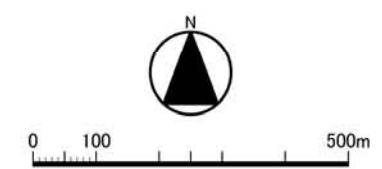
- 【沿道商業地】**
- 周辺の環境や景観に配慮した、商業・業務施設、都市型住宅を中心とした土地利用の誘導
 - 耐火性、耐震性の高い建物の誘導

- 【遠賀川】**
- 水辺に親しむことのできる憩いの空間の創出
 - 動植物とのふれあいやサイクリング、市街地のオープンスペースとして適切な河川景観の整備

- 【国道201号南側の住宅地】**
- 低層住宅地、中高層住宅地で構成される良好な居住環境の維持

- 【新飯塚駅周辺】**
- 駅舎・駅前広場を活かした飯塚の玄関口にふさわしい景観の形成
 - 事業者との協働によるパークアンドライド、キスアンドライドなどの適切な駐車・駐輪場の整備

住宅地	学術・研究開発拠点	広域都市間幹線道路
複合住宅地	工業拠点	都市間幹線道路
商業・業務地	レクリエーション拠点	都市内幹線道路
沿道商業地	歴史観光拠点	補助幹線道路
工業地	都市計画公園(開設)	都市計画道路(改良済)
集落地	都市計画公園(未開設)	都市計画道路(未改良)
農地	都市公園(開設)	(都) 都市計画道路(名称)
森林・樹林地	都市公園(未開設)	(一) 一般県道(名称)
市役所・支所	※都市公園(未開設)はなし	(主) 主要地方道(名称)
公民館	その他の都市施設	〇〇 水の軸
	用途地域	〇〇 歴史をつなぐ軸(長崎街道)



10. 穂波地域のまちづくり方針

10-1 地域の現況と主要課題

(1) 地域拠点や集落地の生活利便性の向上

- 地域拠点である穂波庁舎周辺では、既存の公共公益施設の集積を活かした都市機能の強化や、人にやさしい歩行環境の整備を図ることが課題です。
- 国道200号バイパス沿道では、地域の日常生活を支える魅力ある近隣商業地としての機能強化や、安心して生活サービスが受けられる歩行環境の整備が求められます。
- 西部の豊かな山地や田園に囲まれた集落地では、営農環境と調和した一定の生活利便性の確保を図る必要があります。



沿道サービス施設の集積

《課題》

- 地域の拠点性を高める生活利便施設の誘導
- 人にやさしく、安心して生活サービスが受けられる歩行環境の整備
- 集落地での一定の生活利便性の確保

(2) 安全で円滑に通行できる交通環境の形成

- 市街地の骨格や工業団地へのアクセス道路となっている都市計画道路片島天道線、目尾忠隈線、菰田幸袋線、楽市南尾線、南尾平恒山湊線、南尾平恒工業団地線などが長期未着手となっており、各路線の必要性を再検討する必要があります。
- 通学路などの生活道路への通過交通の流入を防ぐとともに、住宅市街地内の生活道路整備・改善が求められています。



歩道未整備区間（都市計画道路片島天道線）

《課題》

- 都市計画道路の必要性の再検討
- 生活道路への通過交通流入の抑制、生活道路の整備・改善

(3) 安全かつ快適な居住環境の創出

- 平成15年の集中豪雨では、低平地で浸水被害にあった経緯があり、浸水被害を抑制するための宅地化の抑制や、避難地での浸水対策を強化することが課題となっています。
- 人口減少が顕著な東部や北部の既成市街地においては、狭い幅員の道路に老朽化した木造建築が密集しており、居住環境の改善が求められます。
- 市街地では身近な公園が不足し、居住環境の快適性や防災性に問題を抱えており、身近な公園の充実が求められています。
- 穂波東インターチェンジ南部などの用途地域外では、店舗や住宅などによる宅地化の進展が顕著であり、適正な土地利用の規制・誘導が必要です。



宅地化が進行する地区

《課題》

- 市街地の防災性強化
- 身近な公園の整備・改善と適切な維持管理
- 身近な避難地の整備・見直し
- 老朽化した木造住宅地区の改善
- 宅地化が進展している地区への適正な土地利用の規制・誘導

(4) 炭鉱跡地の有効利用や豊かな自然環境の保全・活用

- 大将陣公園、ボタ山は、地域風土を代表する資源となっており、地域活性化に資する有効活用も望まれています。
- 公共下水道が未整備であり、河川や農業用水路に家庭排水が流入していることから、適切な生活排水対策や、地域住民が潤い、憩うことのできる親水性の向上が求められています。
- 穂波川、内住川沿いには、まとまりある農地が残っており、農業生産環境の維持を図るため、保全するとともに、森林ではキャンプや環境学習などに有効活用することが求められています。



大将陣公園



ボタ山

《課題》

- 炭鉱跡地などの有効利用
- 地域特性に応じた排水処理施設整備の推進
- 親水性の高い水辺環境の整備
- 優良農地の保全や良好な森林環境の保全・活用

10-2 地域の将来像と基本目標

（1）将来像

広域交通の利便性を活かし、多様な都市活動と魅力ある暮らしが生まれる
快適生活のまちづくり

（2）地域づくりの基本目標

①安らぎや潤いを大切にした生活利便性の高い居住環境のまちづくり

- 身近にある田園や自然環境の中で、安らぎや潤いが感じられ、地域拠点にふさわしい魅力ある都市機能が整備された、住み続けたいくなるようなまちを目指します。

②恵まれた交通利便性を活かした拠点性の高いまちづくり

- 本地域は、国道201号飯塚庄内田川バイパス、国道200号バイパスなど広域交通の利便性により、商業、工業が発展している地域です。今後も、広域交通利便性を活かした計画的な市街地形成や商工業の集積を図り、拠点性の高いまちを目指します。

③自然の恵みを活かし、水と緑を大切にするまちづくり

- 本地域には、市街地の背後に田園、森林が広がり、地域の個性を育んできました。これまで守り、育てられてきた自然豊かな森林や河川、美しい田園を保全・活用し、自然との調和のとれたまちを目指す。

10-3 地域のまちづくり方針

(1) 土地利用

- 用途地域縁辺部において市街化が進行している地区での用途地域の検討を進めます。
- 住宅地は、安全でゆとりある低層住宅や中高層住宅を中心とした土地利用を推進します。
- 公民館、体育館、保健センターなど公共公益施設が立地する穂波庁舎周辺では、地域住民の交流活動が盛んに行われる地域拠点として、適切に公共公益施設を維持するとともに、穂波東インターチェンジ方面との一体性が高い地域拠点として、生活利便施設の誘導を進めます。
- 飯塚駅に近接する複合住宅地では、大規模集客施設の立地を抑制し、周辺の居住環境と調和した生活利便施設、中高層住宅の誘導を図ります。
- 北部の商業・業務地は、飯塚駅方面との連続性を高め、一体性ある高密な商業・業務地としての形成を図ります。
- 国道200号バイパス、一般県道瀬戸飯塚線、市道南尾椿線の沿道商業地は、周辺環境や沿道景観に配慮した計画的な市街地誘導を進め、近隣住区に生活サービスを提供する商業施設や業務施設を中心とした土地利用を進めます。
- 飯塚工業団地、平恒工業団地が立地する工業地は、周辺の自然環境、居住環境に配慮した操業環境を維持します。
- 西部の集落地では、緑豊かでゆとりある住宅地を形成するとともに、一定の生活利便性を確保していきます。



穂波庁舎



国道200号バイパスの沿道商業地

(2) 交通ネットワーク

- 都市計画道路のうち、現道のある路線区間については現行の機能を分析するとともに将来需要を把握し、現道のない路線区間については代替となる周辺道路や周辺市街地の状況などを踏まえることにより、必要性の再検討を行います。
- 狭あいな道路の多い地区では、建物の建替えと一体的に生活道路の改善や、車両が離合できる空間の確保を進めます。
- 通学路、主要な公共施設へアクセスする道路の拡幅、歩道の整備を進めます。



都市計画道路片島天道線

(3) 水・緑・歴史のまちづくり

- 穂波川、内住川における親水性の高い環境の創出を図ります。
- 大将陣公園の周辺整備、久保白ダム周辺の水と緑を活かしたレクリエーション空間の創出を図ります。地域に身近な公園が不足する地区では、緑の基本計画に基づく適切な公園配置の検討や地域住民との協働による維持管理を進めます。
- 穂波庁舎周辺では、地域特性を活かし、地域拠点にふさわしい景観形成を図るとともに、沿道商業地では良好な沿道景観の形成に取り組みます。
- 公共下水道の計画的な整備とともに、浄化槽による排水処理施設の整備を促進します。



久保白ダム

(4) 安全・安心して暮らせるまちづくり

- 既成市街地の老朽化した木造家屋が密集している地区では、避難地・避難路などの計画的な整備とともに、建築物の不燃化・耐震化を促進します。
- 土砂災害や水害危険性の高い地域での危険性周知や宅地化の抑制を図ります。
- 駅周辺や小中学校周辺など多くの人々が利用する道路でのバリアフリー化や、ガードレール・横断防止柵、道路照明灯などの交通安全施設の整備を進めます。



内住川

■地域別まちづくり方針図

穂波地域

【全体】

- 用途地域外で市街化している地区での用途地域の検討
- 長期未着手となっている都市計画道路の必要性の再検討
- 狭あいな道路の多い地区での生活道路の改善や、車両が離合できる空間の確保
- 公共下水道の計画的整備、浄化槽による排水処理施設の促進
- 土砂災害や水害危険性の高い地域での危険性周知、宅地化の抑制
- 駅周辺や小中学校周辺など多くの人々が利用する道路でのバリアフリー化、ガードレール・横断防止柵、道路照明灯など交通安全施設の整備

【穂波川・内住川】

- 市街地内の身近な河川としての親水性向上
- 総合的な治水対策の推進

【農地】

- 優良農地の保全
- 宅地化の抑制

【森林】

- 森林の保全

【集落地】

- 一定の生活利便性の確保
- 緑豊かでゆとりある住宅地の形成

【複合住宅地】

- 大規模集客施設の立地抑制
- 周辺の居住環境と調和した生活利便施設、中高層住宅の適切な誘導

【商業・業務地】

- 飯塚駅方面との一体性ある高密度な商業・業務地の形成
- 耐火性、耐震性の高い建物の誘導

【沿道商業地】

- インターチェンジ南側の計画的な市街地誘導
- 商業・業務施設を中心とした土地利用の誘導
- 良好な沿道景観の形成

【工業地】

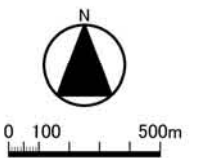
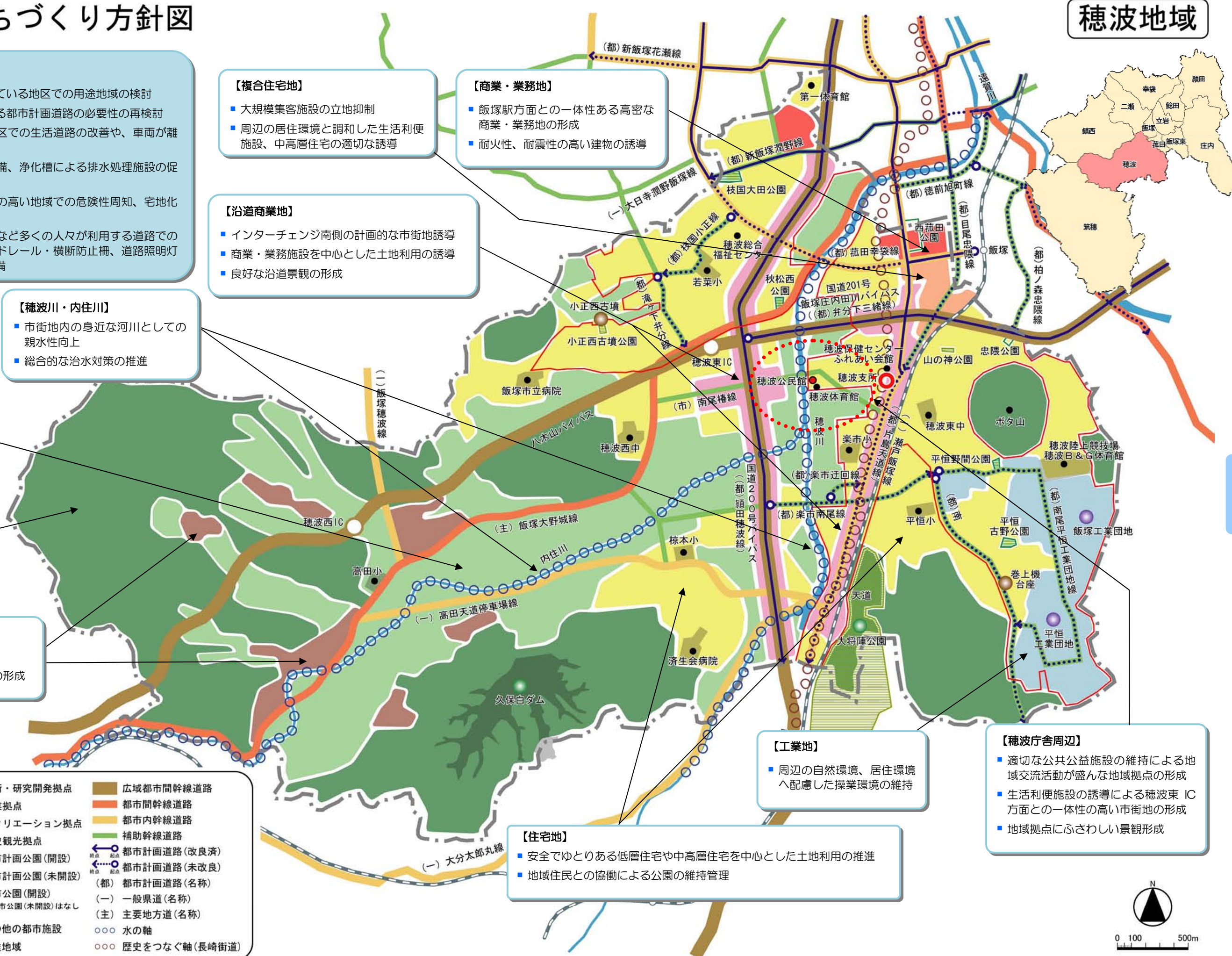
- 周辺の自然環境、居住環境へ配慮した操業環境の維持

【穂波庁舎周辺】

- 適切な公共施設維持による地域交流活動が盛んな地域拠点の形成
- 生活利便施設の誘導による穂波東 IC 方面との一体性の高い市街地の形成
- 地域拠点にふさわしい景観形成

【住宅地】

- 安全でゆとりある低層住宅や中高層住宅を中心とした土地利用の推進
- 地域住民との協働による公園の維持管理



11. 筑穂地域のまちづくり方針

11-1 地域の現況と主要課題

(1) 地域活力の維持・向上に向けた計画的な市街地の形成

- 筑穂元吉、長尾、北古賀、大分地区では、宅地化が進み、筑穂支所周辺には公共公益施設が集積しています。今後、地域拠点にふさわしい計画的な土地利用の誘導や、道路・公園などの整備による計画的な市街地の形成を図るため、都市計画区域への編入や用途地域指定の検討を行う必要があります。
- 住宅開発が進んだ筑前大分駅周辺では、日常生活を支える身近な生活利便施設が少なく、生活利便施設の立地を促す計画的な土地利用が求められます。
- 旧大分小学校跡地、炭鉱跡地などの低未利用地や、公共公益施設を有効活用し、地域の交流活性化を図ることが望まれています。
- 本地域には、国道200号バイパスなどの幹線道路沿道に、工業団地が形成されており、周辺の自然環境や生活環境に配慮した操業環境の維持が求められます。
- 本地域では耕作放棄地の適切な管理が進められています。穂波川、内住川などの河川沿いには、まとまりある農地が残っており、農業生産環境の維持を図るため、保全する必要があります。
- 山間の集落部では、急傾斜地が多く、土砂災害などの自然災害に対する防災性を高める必要があります。



北部の沿道サービス施設



大分駅周辺の新興住宅地

《課題》

- 都市計画区域への編入や用途地域指定の検討
- 地域の拠点性を高める生活利便施設の誘導
- 自然災害に対する防災性の強化
- 優良農地の保全
- 周辺環境に配慮した工業地の形成

（2）地域の産業や暮らしを支える交通ネットワークの充実

- 地域内の生活道路では、狭あいな幅員の区間があり、通行上の不便さを指摘される箇所が多くなっているため、必要に応じて改善を図ることが課題となっています。
- 広域交通（鉄道・幹線道路）の利便性を高めるため、住宅地から鉄道駅や幹線道路に接続する生活道路のアクセス改善が求められます。



上穂波駅周辺

《課題》

- 幹線道路の防災性の強化
- 生活道路の整備や歩行環境の改善

（3）優れた自然環境の保全及び保護活動の推進

- 西部の太宰府県立自然公園をはじめとする森林や河川、ため池などを保全するとともに、地域住民や団体との協働により、豊かな自然環境を活かした活動を拡げていくことが求められています。
- 河川や農業用水路に家庭排水が流入しており、水質改善を図るとともに、地域住民が潤い、憩うことのできる親水性の向上が望まれています。
- サンビレッジ茜などのレクリエーション施設や筑穂総合運動公園など、スポーツ施設は充実していますが、住宅地内における身近な公園の整備や既存公園の適切な維持管理が望まれています。



サンビレッジ茜

《課題》

- 良好な森林資源、動植物の生息環境の保全
- 地域特性に応じた排水処理施設の整備
- 親水性の高い水辺環境の整備
- 身近な公園の改善と適切な維持管理

（4）優れた歴史資源を活かした良好な街並みの創出

- 本地域には大分廃寺塔跡（国指定史跡）、長崎街道内野宿など、数多くの歴史文化資源を有しており、これらの地域資源を保全するとともに、地域資源と調和した街並み環境の創出を図ることが地域の魅力を高めることとなります。



長崎街道内野宿

《課題》

- 歴史資源周辺の一体的な修景整備

11-2 地域の将来像と基本目標

(1) 将来像

恵まれた自然、歴史文化、地域の絆を守り、育む
環境共生のまちづくり

(2) 地域づくりの基本目標

①生活利便性に優れた住み良い暮らしのできるまちづくり

- 鉄道、国道 200 号バイパス、主要地方道筑紫野筑穂線、飯塚大野城線といった広域交通アクセスが良い本地域では、良好な住宅や生活利便施設の誘導を図り、身近な生活サービスが受けられ、多世代が住み続けたいくなるまちを目指します。

②魅力ある地域資源を活かして活力を育むまちづくり

- 基幹産業の農業、長崎街道内野宿など、恵まれた産業資源、歴史文化資源を活かし、地域内外の交流活動がいきいきと育まれるようなまちを目指します。

③豊かな自然とやすらぎのあるまちづくり

- 本地域は、豊かな緑と清らかな川に恵まれた地域として、今後とも恵まれた自然環境の保全・活用を図り、身近な山・川の自然環境を次世代に継承するまちを目指します。

11-3 地域のまちづくり方針

（1）土地利用

- 地域拠点にふさわしい良好な市街地形成を図るため、筑穂支所周辺を含む北部の市街地では都市計画区域への編入や用途地域の指定を検討します。
- 図書館、体育館、郵便局など公共公益施設が集積している筑穂支所周辺は、国道 200 号バイパスの沿道型商業施設との適切な機能分担を図り、生活利便施設の誘導を進めます。また、公共公益施設を有効活用し、スポーツ・レクリエーション、学習、子育てなど多様な交流活動を促進し、地域の歴史文化を活かした拠点を形成します。
- 低層の戸建て住宅を中心に形成されている住宅地は、周辺の自然環境と調和した住宅地としての土地利用の推進や、身近な生活利便施設の集積を図ります。
- 国道 200 号バイパス沿いの沿道商業地は、周辺の生活環境に配慮し、身近な生活利便を支える店舗などを中心として、交通利便性を活かした生活利便施設の集積を図ります。
- 集落地は、緑豊かでゆとりある住宅地を形成するとともに、一定の生活利便性を確保していきます。
- 工業地は、既存の工業団地を維持するとともに、周辺の自然環境、居住環境に配慮した操業環境を維持します。
- 旧大分小学校跡地や炭鉱跡地などの低未利用地は、地域活力を高めるための有効利用の検討を進めます。



筑穂支所



大分駅周辺の生活利便施設

（2）交通ネットワーク

- 通学路、支所周辺の生活道路の拡幅、歩道の整備を進めます。
- 広域交通の利便性を高めるため、幹線道路や鉄道駅へアクセスする生活道路について幅員が狭小な区間などの解消や歩道の確保に努めます。
- 筑前大分駅周辺では、事業者との協働により、パークアンドライド、キスアンドライドなどの適切な駐車・駐輪場の設置を検討します。



整備された歩道

(3) 水・緑・歴史のまちづくり

- 穂波川、内住川、山口川、大野川、馬敷川、大分川では、良好な水辺環境を保全するとともに、川遊びや河川敷の散策などのできる親水性の高い環境の創出を図ります。
- 太宰府県立自然公園など、貴重な自然環境及び生物の生息環境を有する森林を維持・保全するとともに、豊かな自然とふれあえるレクリエーションの場として活用を努めます。
- 地域に身近な公園の改善を図るとともに、地域住民との協働による適切な維持管理への取り組みを検討します。
- 河川・用水路の水質の保全を図るため、浄化槽設置の促進による排水処理対策を進めます。
- 大分廃寺塔跡（国指定史跡）周辺や長崎街道内野宿周辺など、良好な集落景観、歴史的街なみ景観を残す地区では、歴史性を感じられる落ち着いた街並み環境の形成や、多様な交流空間の創出を図ります。



大分八幡宮



大分地区の落ち着いた街並み

(4) 安全・安心して暮らせるまちづくり

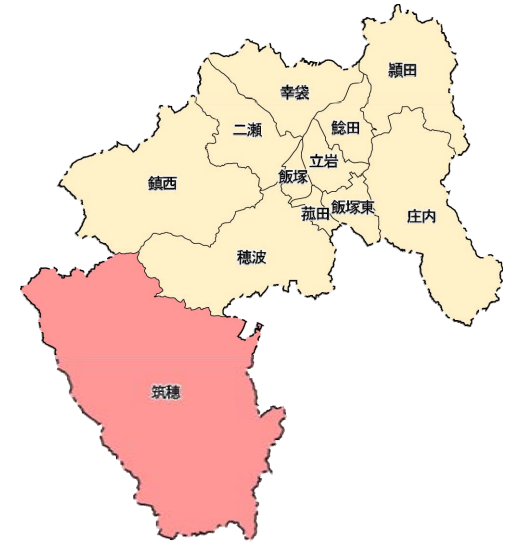
- 駅周辺や小中学校周辺など多くの人々が利用する道路でのバリアフリー化や、ガードレール・横断防止柵、道路照明灯などの交通安全施設の整備を進めます。
- 土砂災害や水害危険性の高い地域での危険性周知や宅地化の抑制を図ります。
- 山間部を通過する主要地方道筑紫野筑穂線、飯塚大野城線の防災対策を促進し、防災性の高い基盤整備及びその管理に努めます。



支所周辺道路のバリアフリー化

■ 地域別まちづくり方針図

筑穂地域



- 【全体】**
- 通学路、主要な生活道路の拡幅、歩道の整備
 - 幹線道路や鉄道駅へアクセスする生活道路における幅員が狭小な区間の解消
 - 身近な公園の改善及び地域住民との協働による維持管理
 - 浄化槽設置による排水処理対策の推進
 - 土砂災害などの危険性の高い地域での危険性周知や宅地化の抑制
 - 駅周辺や小中学校周辺など多くの人々が利用する道路でのバリアフリー化、ガードレール・横断防止柵、道路照明灯など交通安全施設の整備

- 【穂波川・内住川・山口川・大野川・馬敷川・大分川】**
- 良好な水辺環境の保全
 - 川遊びや河川敷の散策などのできる親水性の高い環境の創出

- 【筑前大分駅周辺】**
- 事業者との協働によるパークアンドライド、キスアンドライドなど適切な駐車・駐輪場の設置の検討

- 【工業地】**
- 周辺の自然環境、居住環境に配慮した操業環境の維持

- 【都市間幹線道路】**
- (主) 筑紫野筑穂線、(主) 飯塚大野城線の防災対策の促進

- 【森林】**
- 自然環境豊かな森林、ため池の保全
 - 森林を活かした、レクリエーション、環境学習など多様な活動の場としての活用

- 【農地】**
- 優良農地、ため池の保全
 - 農地利用集積などによる耕作放棄地の解消

- 【住宅地】**
- 周辺の自然環境と調和した低層の住宅地を基本とした土地利用の推進
 - 生活利便施設の集積
 - 低未利用地の有効利用の検討
 - 用途地域指定の検討

- 【沿道商業地】**
- 身近な生活利便を支える店舗などを中心とした生活利便施設の集積

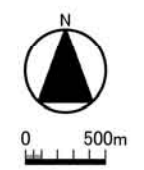
- 【北部の市街地】**
- 都市計画区域の編入、用途地域指定の検討

- 【地域拠点（筑穂支所周辺）】**
- 生活利便施設の誘導
 - 公共公益施設を活用した多様な交流活動の促進による地域に根づいた歴史や文化を活かした地域拠点の形成

- 【集落地】**
- 緑豊かでゆとりある住宅地の形成
 - 一定の生活利便性の確保

- 【長崎街道内野宿周辺】**
- 歴史性を感じられる落ち着いた街並み環境の形成や多様な交流空間の創出
 - 穂波川での水辺に親しめる空間の整備

住宅地	学術・研究開発拠点	広域都市間幹線道路
複合住宅地	工業拠点	都市間幹線道路
商業・業務地	レクリエーション拠点	都市内幹線道路
沿道商業地	歴史観光拠点	補助幹線道路
工業地	都市計画公園(開設)	都市計画道路(改良済)
集落地	都市計画公園(未開設)	都市計画道路(未改良)
農地	都市公園(開設)	(都) 都市計画道路(名称)
森林・樹林地	都市公園(未開設)	(一) 一般県道(名称)
市役所・支所	用途地域	(主) 主要地方道(名称)
公民館		水の軸
		歴史をつなぐ軸(長崎街道)



12. 庄内地域のまちづくり方針

12-1 地域の現況と主要課題

（1）地域資源を活かした活力ある地域拠点の形成

- 庄内支所周辺では、既存の公共公益施設の集積を活かした都市機能の強化を図るとともに、国道沿道の商業集積地や赤坂地区など地域内の市街地とのアクセス性を高めることが求められます。
- 郊外型店舗が多く立地する国道201号沿道では、地域の日常生活を支える機能の強化や安心して生活サービスが受けられる歩行環境の整備が求められます。



庄内支所

《課題》

- 地域の拠点性や利便性を高める生活利便施設の誘導
- 安心して生活サービスが受けられる歩行環境の整備



庄内保健福祉総合センターハーモニー

（2）地域の産業や暮らしを支える交通ネットワークの充実

- 国道201号飯塚庄内田川バイパスが供用開始されましたが、市街地の骨格となっている都市計画道路伊川大谷線、有井大坪線、有安道祖線、安丸道祖線、水洗安丸線が長期未着手となっており、必要性を再検討する必要があります。
- 生活利便性の高い国道201号とJR後藤寺線に挟まれたエリアと地域北部及び南部を結ぶ道路の改良、歩道の確保など、円滑で安全性の高い交通環境を形成することが課題となっています。



国道201号飯塚庄内田川バイパス

《課題》

- 都市計画道路の必要性の再検討
- 生活道路の整備・改善
- 安全な歩行環境の創出

(3) 総合的な水資源の利活用・保全

- 世帯数の増加や企業立地、水洗化などの進行に伴い、水需要が増大しているため、水源地の保全など安定した水資源の確保に向けた取り組みが求められています。
- 河川や農業用水路に家庭排水が流入しており、水質改善を図るとともに、地域住民が潤い、憩うことのできる親水性の向上が望まれています。



庄内川

《課題》

- 地域特性に応じた排水処理対策の充実

(4) 豊かな自然環境の保全・活用

- 庄内川沿いには、まとまりある農地が広がっており、農業生産環境の維持を図るため、保全する必要があります。
- 優良農地、森林、河川、ため池は多様な生物の生息環境、地域住民にやすらぎを与える資源として保全するとともに、教育やレクリエーションの場などに活用することが望まれています。
- 地域北部に筑豊緑地があり、レクリエーション空間には恵まれています。住宅地に近接した身近な公園の改善や適切な維持管理が課題となっています。



まとまりある農地

《課題》

- 良好な森林資源や動植物の生息環境の保全
- 優良農地、ため池の保全
- 親水性の高い水辺環境の整備
- 身近な公園の改善と適切な維持管理

12-2 地域の将来像と基本目標

（1）将来像

自然豊かな公園緑地を活かして、誰もがいきいきと生涯を過ごせる
健康と活力のあるまちづくり

（2）地域づくりの基本目標

①周辺環境と調和した都市活動の活発なまちづくり

- 庄内工業団地や幹線道路沿いの沿道商業のほか、隣接して近畿大学産業理工学部が立地しており、活力に溢れる地域です。これらの地域資源を活かして、周辺環境と調和した活発な都市活動が展開されるまちを目指します。

②ゆとりある生活環境を次世代に受け継ぐまちづくり

- 本地域は、住宅などの新築も活発であり、国道 201 号飯塚庄内田川バイパスの開通により、さらに利便性が高まることが予想されます。適切な土地利用規制・誘導を図ることにより、ゆとりある良好な居住環境のまちを目指します。

③自然とレクリエーションの充実した健康のまちづくり

- 筑豊緑地などの豊かな自然・レクリエーション資源を活かして、子どもから若者、高齢者まで、スポーツ、健康づくり、自然とのふれあいなど多様なレクリエーション活動が育まれるまちを目指します。

12-3 地域のまちづくり方針

(1) 土地利用

- 体育館、図書館、郵便局、医療施設など公共公益施設が集積している庄内支所周辺は、だれもが生涯いきいきと暮らせる健康文化の拠点として、適切な公共公益施設の維持を図るとともに、地域拠点として商業、医療などの生活利便施設、都市型住宅の誘導を図ります。
- 戸建て住宅を中心とする筑前庄内駅、下鴨生駅北側の住宅地では、低層住宅地としての保全を図るとともに、周辺の自然環境に配慮した身近な生活利便施設の誘導を図ります。また、近畿大学産業理工学部立地の活用を促して、学生をはじめとした多世代の居住ニーズに対応した住宅供給を促進します。
- 低未利用地になっている炭鉱跡地では、有効利用方策の検討を進めます。
- 庄内支所周辺から国道201号沿いまでの複合住宅地は、大規模集客施設の立地を抑制し、周辺の居住環境と調和した生活利便施設、都市型住宅の誘導を図ります。国道201号北側の複合住宅地の、低未利用地における有効利用方策を検討します。
- 国道201号沿いの沿道商業地は、周辺環境や沿道景観に配慮し、近隣住区に生活サービスを提供する商業施設、業務施設、都市型住宅の誘導を図ります。
- 工業地は、周辺の自然環境、居住環境に配慮した操業環境を維持します。
- 北部や南部の集落地は、緑豊かでゆとりある住宅地を形成するとともに、一定の生活利便性を確保していきます。
- 森林や農地を活かしたレクリエーション、環境学習、農業とのふれあいなど多様な活動の場としての活用を図ります。



庄内工業団地



国道201号の沿道サービス施設

(2) 交通ネットワーク

- 都市計画道路のうち、現道のある路線区間については現行の機能を分析するとともに将来需要を把握し、現道のない路線区間については代替となる周辺道路や周辺市街地の状況などを踏まえることにより、必要性の再検討を行います。
- 庄内支所、庄内小学校、庄内中学校の周辺など歩行者交通の多い区間での歩行環境の改善を進めます。



筑前庄内駅周辺

（3）水・緑・歴史のまちづくり

- 緑の基本計画に基づき、適切な公園の整備・改善や、地域住民との協働による維持管理を進めます。鳥羽公園は、地域住民に利用しやすいような施設改善を図ります。筑豊緑地は、多くの人々がスポーツや健康づくりを楽しめる公園として適切な維持管理を図ります。
- 庄内川では、自然とふれあえる親水性の高い環境の創出を図ります。
- 河川・用水路の水質の保全を図るため、公共下水道の計画的な整備とともに、浄化槽の設置による排水処理対策を進めます。



鳥羽公園

（4）安全・安心して暮らせるまちづくり

- 土砂災害や水害危険性の高い地域での危険性周知や宅地化の抑制を図ります。
- 避難地である小中学校、公園の防災機能を強化するとともに、道路整備に合わせて避難地までの誘導案内の強化に取り組みます。
- 駅周辺や小中学校周辺など多くの人々が利用する道路でのバリアフリー化や、ガードレール・横断防止柵、道路照明灯など交通安全施設の整備を進めます。



交差点部の交通安全施設

庄内地域

■地域別まちづくり方針図

- 【全体】**
- 低層住宅を基本とした土地利用の推進
 - 炭鉱跡地の有効利用方策の検討
 - 長期未着手となっている都市計画道路の必要性の再検討
 - 幹線道路の良好な沿道景観の形成
 - 適切な公園の改善及び地域住民との協働による維持管理
 - 公共下水道の計画的整備、浄化槽設置による排水処理対策の推進
 - 土砂災害などの危険性の高い地域での危険性周知や宅地化の抑制
 - 避難地である小中学校、公園の防災機能の強化
 - 避難地までの誘導案内の強化
 - 駅周辺や小中学校周辺など多くの人々が利用する道路でのバリアフリー化、ガードレール・横断防止柵、道路照明灯など交通安全施設の整備

- 【筑豊緑地】**
- 多くの人々がスポーツや健康づくりを楽しめる公園としての適切な維持管理

- 【複合住宅地】**
- 大規模集客施設の立地の抑制
 - 周辺の居住環境と調和した生活利便施設、都市型住宅の誘導
 - 国道北側での低未利用地における有効利用



- 【沿道商業地】**
- 周辺環境や沿道景観に配慮した商業施設、業務施設、都市型住宅の誘導

- 【鳥羽公園】**
- 地域住民に利用しやすい施設改善

- 【住宅地】**
- 学生をはじめ多世代の居住ニーズに対応した魅力ある住宅供給を促進
 - 低層住宅地としての保全、周辺の自然環境に配慮した生活利便施設の誘導
 - 低未利用地の有効利用の検討

- 【工業地】**
- 周辺の自然環境、居住環境に配慮した操業の維持

- 【集落地】**
- 一定の生活利便性を確保し、緑豊かでゆとりある住宅地を形成

- 【地域拠点（庄内支所周辺）】**
- 適切な公共公益施設の維持、商業、医療などの生活利便施設、都市型住宅の誘導
 - 歩行空間のバリアフリーなど高齢者にやさしい歩行環境の改善

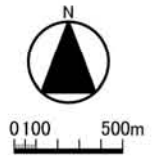
- 周辺の自然環境に配慮した生活利便施設の誘導

- 【森林】**
- 森林の保全
 - 教育、レクリエーションの場として活用

住宅地	学術・研究開発拠点	広域都市間幹線道路
複合住宅地	工業拠点	都市間幹線道路
商業・業務地	レクリエーション拠点	都市内幹線道路
沿道商業地	歴史観光拠点	補助幹線道路
工業地	都市計画公園(開設)	都市計画道路(改良済)
集落地	都市計画公園(未開設)	都市計画道路(未改良)
農地	都市公園(開設)	(都) 都市計画道路(名称)
森林・樹林地	※都市公園(未開設)はなし	(一) 一般県道(名称)
市役所・支所	その他の都市施設	(主) 主要地方道(名称)
公民館	用途地域	〇〇 水の軸
		〇〇〇 歴史をつなぐ軸(長崎街道)

- 【農地】**
- 優良農地の保全
 - 宅地化の抑制

- 【庄内川】**
- 動植物とのふれあいができる親水性の高い環境の創出



13. 穎田地域のまちづくり方針

13-1 地域の現況と主要課題

(1) 地域活力の維持・向上に向けた計画的な市街地の形成

- 本地域では、用途地域が無指定です。地域拠点である穎田支所周辺では、既存の公共公益施設の集積を活かした都市機能の強化を図る必要があり、適切な土地利用の規制・誘導や低未利用地の有効活用などによる都市機能の強化が課題となります。
- 穎田支所周辺では、商業店舗の集積が弱いため、国道 200 号バイパス沿道などにおいて、地域の日常生活を支える魅力ある商業機能の強化や安全な交通環境整備が求められます。
- 勢田北部及び石丸の工業団地では、周辺の居住環境に配慮した操業環境の形成が課題です。



国道 200 号バイパス沿道



穎田支所

《課題》

- 市街地の状況に応じた用途地域指定の検討
- 地域の拠点性を高める生活利便施設の誘導
- 周辺の居住環境に配慮した工業地の形成

(2) 地域の産業や暮らしを支える交通ネットワークの充実

- 生活の利便性や産業活力の維持向上を図るため、交通ネットワークの充実を図ることが課題です。
- 穎田支所周辺や小中学校周辺では歩行環境の改善が望まれています。
- 生活道路に狭あいな区間や歩道のない区間がみられ、歩行者交通の多い箇所における生活道路の整備・改善が求められます。

《課題》

- 道路ネットワークの充実
- 生活道路の整備・改善
- 地区特性に対応した歩行環境の改善

(3) 安全かつ快適な居住環境の創出

- 本地域では、緩やかではありますが人口減少が続き、高齢化が進行しています。そのため、若者から高齢者まで多世代が住み続けることのできる快適な居住環境の創出が望まれます。
- 大雨時の浸水被害や土砂災害による被害が懸念されるため、避難地での防災機能の強化や水道・道路などの基盤施設の防災性を強化する必要があります。
- 勢田北部の老朽化した炭鉱住宅が残る地区では、狭い幅員の道路の改善など居住環境の向上が求められます。
- 本地域には、多くの人々に利用されている筑豊緑地があり、また、体育館や武道館、野球場など多様なレクリエーションに対応できるかいた中央公園があります。さらに子どもも楽しめる公園としての機能強化や適正な維持管理が求められており、今後の維持管理体制のあり方とともに検討・改善を図ることが課題です。



かいた中央公園

《課題》

- 生活道路の整備・改善
- 市街地の防災性強化
- 身近な避難地の整備・見直し
- 公園の整備・改善と適切な維持管理

(4) 豊かな自然環境・歴史文化資源の保全・活用

- 河川や農業用水路に生活排水が流入しており、水質改善を図るとともに、地域の身近な潤い、憩いの場となるような親水性の向上が望まれます。
- 庄内川、鹿毛馬川沿いには、まとまりある農地が残っており、農業生産環境の維持を図るため、保全する必要があります。
- 優良農地、森林、ため池は、地域住民にやすらぎを与える資源として保全するとともに、教育やレクリエーションの場などに活用することが求められます。
- 旧松喜醤油屋、鹿毛馬神籠石などの歴史文化資源がありますが、アクセスや周辺の修景整備が不十分であるため、歴史文化資源と調和した環境改善を図ることが課題です。



まとまりある農地

《課題》

- 親水性の高い水辺環境の整備
- 地域特性に応じた排水処理対策の推進
- 優良農地の保全や良好な森林資源
- 歴史観光資源周辺へのアクセスや周辺の修景整備

13-2 地域の将来像と基本目標

(1) 将来像

豊かな自然・人・地域に囲まれ、教育の先進地を支える
健やかな暮らしと人を育むまちづくり

(2) 地域づくりの基本目標

①産業と生活が調和した活力あるまちづくり

- 本地域では、市街地周囲に田園、森林、工業団地が分布し、地域の個性を育んできました。今後とも、産業と生活とが調和し、いきいきとした産業活動が営まれるまちを目指します。

②生活利便性が高く、多様な世代に対応した住みやすいまちづくり

- 潁田支所周辺にある福祉、レクリエーション、地域コミュニティなどの公共公益施設を有効に活用し、多様な世代に対応した生活利便性の高いまちを目指します。

③多様な世代間交流を育み、生きがいを感じることでできるまちづくり

- 子育て、教育などこれまで地域で積極的に取り組まれてきた活動を活かし、多様な交流、ふれあいが行われ、生きがいを感じることでできるまちを目指します。

13-3 地域のまちづくり方針

(1) 土地利用

- 市街化が進行している地区での用途地域の検討を進めます。
- 潁田支所周辺では、コミュニティ施設、高齢者福祉センター、小中学校など公共公益施設の集積を活かし、子育てや教育、多世代間交流が盛んな地域拠点として、商業、医療などの生活利便施設や教育環境の充実を図ります。拠点内の定住魅力を高めるため、公共公益施設を活用した多様な交流活動を促進します。
- 国道 200 号バイパス及び主要地方道北九州小竹線といった幹線道路沿いに立地する住宅地は、ゆとりある低層住宅を基本とした土地利用を促進します。
- 国道 200 号バイパス及び主要地方道北九州小竹線が交差する沿道一帯は沿道商業地として周辺環境や沿道景観に配慮し、近隣住区の生活サービスを提供する商業施設や業務施設、都市型住宅を中心とした土地利用の誘導を進めます。
- 低未利用地となっている北部の炭鉱跡地については、有効利用方策の検討を進めます。
- 勢田北部及び石丸の工業地はいずれも住宅地及び集落地に隣接しており、既存の工業団地を維持するとともに、周辺の自然環境、居住環境に配慮した操業環境を維持します。
- 集落地は、緑豊かでゆとりある住宅地を形成するとともに、一定の生活利便性を確保していきます。また、幹線道路から離れて形成されている集落地にも必要な生活道路の確保や公共交通の利便性の確保に努めます。
- 貴重な自然環境及び生物の生息環境を有する農地や森林は、学習、レクリエーションの場として活用に努めます。



支所周辺の医療施設



ゆとりある低層住宅地

(2) 交通ネットワーク

- 勢田北部の住宅地など狭あいな生活道路の多い地区では、老朽木造住宅の建替えと一体的に拡幅や、車両が離合できる空間の確保を進めます。
- 潁田小学校、潁田中学校の周辺や主要な公共公益施設周辺では通学路や施設へアクセスする道路の拡幅、歩道の整備を進めます。

(3) 水・緑・歴史のまちづくり

- 遠賀川、庄内川、鹿毛馬川では、親水性の高い河川環境の創出を図ります。
- かいた中央公園は、周辺の公共公益施設と一体となった総合的なレクリエーション及び憩いの空間として、誰もが利用しやすい公園としての施設改善を図ります。筑豊緑地は、多くの人々がスポーツや健康づくりを楽しめる公園として適切な維持管理を図ります。
- 国道 200 号バイパス及び主要地方道北九州小竹線といった地域の骨格となる幹線道路においては、周辺の自然環境に配慮した良好な沿道景観の形成に取り組みます。
- 河川・用水路の水質の保全を図るため、公共下水道の計画的な整備とともに、浄化槽の設置促進による排水処理対策を進めます。
- 穎田支所周辺、かいた中央公園、小中学校などの周辺では、施設建替えなどの状況も踏まえながら主要な公共公益施設を回遊する歩行者空間を形成します。
- 旧松喜醤油屋、鹿毛馬神籠石などの地域資源と調和した良好な街なみ環境の形成や、情報案内の強化に努めます。



筑豊緑地



旧松喜醤油屋

(4) 安全・安心して暮らせるまちづくり

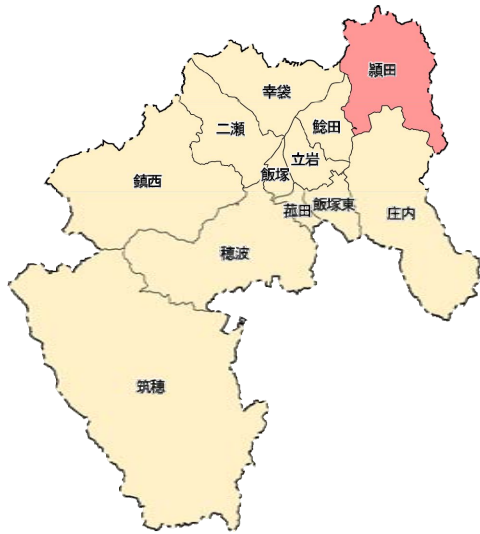
- 小中学校周辺など多くの人々が利用する道路でのバリアフリー化や、ガードレール・横断防止柵、道路照明灯などの交通安全施設の整備を進めます。
- 勢田北部の老朽化した炭鉱住宅が残る地区では、住宅の建替えなどにあわせた一体的な避難地・避難路の確保を図ります。
- 土砂災害や水害危険性の高い地域での危険性周知や宅地化の抑制を図ります。
- 避難地である小中学校、公園の防災機能を強化するとともに、避難地までの誘導案内の強化に取り組みます。



密集した住宅地

■地域別まちづくり方針図

穎田地域



- 【全体】**
- 市街化が進行している地区での用途地域指定の検討
 - 炭鉱跡地の有効利用方策の検討
 - 避難地である小中学校、公園の防災機能の強化、避難地までの誘導案内の強化
 - 通学路や主要な公共施設へアクセスする道路の拡幅、歩道の整備
 - 公共下水道の計画的整備、浄化槽設置促進による排水処理対策の推進
 - 小中学校周辺など多くの人々が利用する道路でのバリアフリー化、ガードレール・横断防止柵、道路照明灯など交通安全施設の整備

- 【遠賀川】**
- 親水性の高い環境の創出
 - 総合的な治水対策の推進

- 【沿道商業地】**
- 周辺環境や沿道景観に配慮した商業施設、業務施設を中心とした土地利用の誘導

- 【勢田・石丸の住宅地】**
- ゆとりある低層住宅を基本とした住宅地の形成
 - 老朽家屋の建替えなどにあわせて一体的な避難地・避難路の確保

- 【地域拠点（穎田支所周辺）】**
- 生活利便施設の誘導、公共施設を利用した多様な交流活動の促進などによる子育てや教育、多世代間交流が盛んな地域拠点の形成

- 【歴史観光資源周辺】**
- 旧松喜醤油屋などと調和した街なみ環境の形成

- 【工業地】**
- 周辺の自然環境、居住環境に配慮した操業環境の維持

- 【勢田北部の住宅地】**
- ゆとりある低層住宅を基本とした住宅地の形成
 - 狭い幅員の生活道路の改善
 - 土砂災害、浸水被害の危険性の高い区域への危険性周知、宅地化の抑制

- 【主要地方道北九州小竹線】**
- 良好な沿道景観の形成

- 【集落地】**
- 一定の生活利便性を確保し、緑豊かでゆとりある住宅地の形成

- 【歴史観光資源周辺】**
- 鹿毛馬神籠石などの情報案内の強化

- 【農地】**
- 優良農地の保全
 - 宅地化の抑制

- 【集落地】**
- 必要な生活道路の確保や公共交通の利便性の確保

- 【工業地】**
- 周辺の自然環境、居住環境に配慮した操業環境の維持、促進

- 【森林】**
- 森林の保全、宅地化の抑制
 - 教育、レクリエーションの場として活用

- 【庄内川・鹿毛馬川】**
- 親水性の高い環境の創出
 - 総合的な治水対策の推進

- 【筑豊緑地】**
- 多くの人々がスポーツや健康づくりを楽しめる公園としての適切な維持管理

住宅地	学術・研究開発拠点	広域都市間幹線道路
複合住宅地	工業拠点	都市間幹線道路
商業・業務地	レクリエーション拠点	都市内幹線道路
沿道商業地	歴史観光拠点	補助幹線道路
工業地	都市計画公園(開設)	都市計画道路(改良済)
集落地	都市計画公園(未開設)	都市計画道路(未改良)
農地	都市公園(開設)	(都) 都市計画道路(名称)
森林・樹林地	都市公園(未開設)	(一) 一般県道(名称)
市役所・支所	※都市公園(未開設)はなし	(主) 主要地方道(名称)
公民館	その他の都市施設	水の軸
	用途地域	歴史をつなぐ軸(長崎街道)

